

(主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書)

基本事業コード	02010106	担当グループ名	総務部 総務グループ 庶務担当
基本事業名	公文書管理事業		
総合計画の 位置づけ	基本目標	06 創意と工夫を活かし、誇れるまち	
	施策(大区分)	02 創意ある運営をめざす	
	施策(中区分)	01 行財政	
	施策(小区分)	02 行政運営、行政サービスの効率化	
事業の概要	行政文書を組織的かつ効率的に管理するために、文書管理体制の見直し及び統一的な管理ルールの徹底を図る。 また、住民からの開示請求に応えるための適正管理を図ることを目的とする。		
対 象	町民、町職員		
目 的	文書に関する事務を適正かつ効果的に行えるようにする。		

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
ファイリングシステムの導入率		%	13		58	100

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		9,376	16,533	12,158
財源内訳	国庫補助金			0
	道支出金			0
	地方債			0
	その他特定			0
	一般財源	9,376	16,533	12,158

【今後の方向性】

成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	文書管理は、町の様々な事務を行う上で重要な事務であり、その円滑かつ効率的な運用は、信頼される行政のため必要不可欠である。このため、基本事業指標はまずファイリングの導入率を設定した。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	構成された事務事業は、基本事業指標を達成するため妥当と考える。今後、システムの維持・改善を図るための方法について検討していく必要がある。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	行政執行に必要な基礎的な事務や管理業務であり、町が実施することが適当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	公文書管理事業	維持管理体制の構築や職員の文書管理能力の向上を図るため、全庁に、「（仮）ファイリング維持管理委員会」を設けたり、毎月の維持管理チェックテストの実施を検討していきたい。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	ファイリングシステムについて、総務グループ職員及び行政文書管理士を中心に、その維持管理を図るノウハウを構築することを研究する。
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	ファイリングシステム導入業者による実地指導から職員による巡回指導へ変更しても、ファイリングの適正な維持管理が可能となり、ファイリングシステムコストの削減が図られる。
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	総務部 総務グループ	内線
	総務主幹 石澤 憲	210

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		02010401	担当グループ名		総務部 総務グループ 庶務担当
基本事業名		庁舎管理事業			
総合計画の 位置づけ	基本目標	06 創意と工夫を活かし、誇れるまち			
	施策(大区分)	02 創意ある運営をめざす			
	施策(中区分)	01 行財政			
	施策(小区分)	02 行政運営、行政サービスの効率化			

事業の概要	本庁舎、別館の秩序の維持、公務の円滑化、利用者の利便性向上を目的とし、適正な維持管理を行う。
-------	--

対 象	町民、町職員
目 的	公務の円滑化、来庁者の利便性の向上及び安全性を確保する。

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
事故及び苦情件数		件	0		0	0

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		29,664	16,453	15,517
財源内訳	国庫補助金			0
	道支出金			0
	地方債			0
	その他特定			168
	一般財源	29,664	16,453	15,349

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
コスト投入の方向性		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	公務の円滑化、利用者の利便性向上には、庁舎の適切な維持管理が不可欠であり、指標・目標値は適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	構成された事務事業は、基本事業指標を構成するため妥当と考える。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	行政財産であり、他の実施主体は考えられない。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	庁舎維持管理事業	将来の庁舎改築等を見据え、無駄のない維持管理に努める。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	庁舎の老朽化に伴い、毎年多くの維持管理費を要している。将来における現庁舎の問題点、新庁舎の必要性、庁舎建設の事業手法等の検討を行う必要があるため、庁内検討委員会等の検討組織を立ち上げるなど、具体的な検討を行うことも必要だと思われる。
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	庁舎建設までには将来にわたり多くの時間を要することとなるが、庁内検討委員会等での論議を通じて、利用者の利便性や安全性を考え、常に最善の判断ができるよう、体制を整えることができる。
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	総務部 総務グループ	内線
	総務主幹 石澤 憲	210

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		02010107		担当グループ名		総務部 総務グループ 職員担当	
基本事業名		職員研修事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	06 創意と工夫を活かし、誇れるまち					
	施策(大区分)	02 創意ある運営をめざす					
	施策(中区分)	01 行財政					
	施策(小区分)	01 行政組織の活性化					
事業の概要		美幌町職員人材育成基本方針に基づき、職員一人ひとりが全体の奉仕者であることを自覚し、自らの意識改革・資質向上に取り組むため、計画的に職員研修を実施する。					
対 象		町職員					
目 的		能力開発及び人材育成を図る。					

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
職員研修参加受講者数		人	856		552	200

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		4,789	3,119	5,120
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	302	305	100
	一般財源	4,487	2,814	5,020

【今後の方向性】

成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	より質の高い行政サービスの提供には、職員の資質向上は不可欠であり、指標・目標値は適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	職員研修は、基本事業指標を達成することに直結するものであり妥当と考える。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	町職員を対象とするものであり、町が実施主体であることは妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	外部研修機関等の研修に参加することが難しい状況にある職員のため、職員のニーズに合わせた効果的な研修機会を提供する方策を検討する。
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	職員研修等を通じて、職員の能力向上を図ることにより、行政サービスの更なる向上と効果的な行政運営に寄与する。
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	総務部 総務グループ	内線
	総務主幹 石澤 憲	210

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		02010201	担当グループ名		総務部 総務グループ 広報担当
基本事業名		広報事業			
総合計画の 位置づけ	基本目標	06 創意と工夫を活かし、誇れるまち			
	施策(大区分)	01 情報を共有し、ともに進める			
	施策(中区分)	02 広報・広聴・住民参加			
	施策(小区分)	01 広報の充実			

事業の概要	町広報を毎月1回発行し、町民に対して、町の取り組みや事業の内容、イベント等のお知らせをする。 また、町内外の方々に対しては、ホームページやフェイスブック等を活用して、町の行政情報を提供する。
-------	--

対 象	町民、町内外者
目 的	町の取り組みやニュース、各種イベント情報などを適切な時期に配信することで、情報提供の充実を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
広報誌配布率	配布部数／発行部数（庁内配布除く）	%	97		95.9	97

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		19,752	11,781	11,338
財源内訳	国庫補助金	62	32	32
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	316	165	120
	一般財源	19,374	11,584	11,186

【今後の方向性】

成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入の方向性					

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	町の行政情報を提供する事業であるため、指標・目標値の設定は適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	広報事業の柱は、広報誌とホームページであり、構成された事務事業は妥当と考える。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	編集業務の方法はプロポーザル方式による複数年契約を実施した。 きめ細かな行政情報の発信については、町が実施主体となり進めることが妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。		
基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。		
改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	広報のレイアウト、ホームページの構成について、常に親しみやすい情報発信に努める。
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	より多くの町民が町政に関心を持ち、必要な情報を得ることができる。
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	総務部 総務グループ 総務主幹 石澤 憲	内線 210
----------------------	-------------------------	-----------

27

事後評価シートの
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		02011103	担当グループ名		総務部 総務グループ 駐屯地担当
基本事業名		駐屯地強化充実推進事業			
総合計画の 位置づけ	基本目標	03 きまりを守り、明るいまちに			
	施策(大区分)	02 災害に強いまちにする			
	施策(中区分)	01 防災体制の充実、強化			
	施策(小区分)	03 自衛隊美幌駐屯地部隊との連携			
事業の概要		大規模災害時等における陸上自衛隊美幌駐屯部隊の存在は大きく、連携強化を図り部隊・施設の充実整備を求めています。			
対 象		美幌駐屯部隊			
目 的		部隊の充実整備を図る。			

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
美幌駐屯地自衛官数		人	761		750	800

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事務事業名 (★＝実施計画事業)		事務事業指標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重点化
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1	★	駐屯地強化充実推進事業	自衛官数(人)				妥当	普通	高い	維持	拡充	
			761	750								
			6,056	6,043	6,382							

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		6,056	6,043	6,382
財源内訳	国庫補助金			0
	道支出金			0
	地方債			0
	その他特定			0
	一般財源	6,056	6,043	6,382

【今後の方向性】

↑

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の観点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	国の安全はもとより、地域の安全安心の確保の観点から美幌駐屯部隊の充実整備は不可欠であり、指標・目標値は適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	構成された事務事業は、基本事業指標を達成するため妥当と考える。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	隊区内2市8町で構成する美幌地方自衛隊協力をはじめとする協力関係諸団体との連携した取り組みが必要であることから、妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
基本事業を構成する事務事業の見直し	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
基本事業を構成する事務事業の見直し	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	総務部 総務グループ	内線
	総務主幹 石澤 憲	210

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		02011001	担当グループ名	総務部 総務グループ 電算担当
基本事業名		電算システム事業		
総合計画の 位置づけ	基本目標	06 創意と工夫を活かし、誇れるまち		
	施策(大区分)	02 創意ある運営をめざす		
	施策(中区分)	01 行財政		
	施策(小区分)	02 行政運営、行政サービスの効率化		

事業の概要	電算システムの管理、適正運用、プログラム強化を実施し、安全で安心な電算システム構築を推進し、もって事務効率及び住民サービスの向上を図る。
-------	--

対 象	電算システム利用職員
目 的	安定した電算システムの運用により、効果的な事務処理環境を提供する。

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
システム稼働率	実稼働時間／稼働予定時間 効率的な事	%	100		100	100

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		58,789	71,856	73,709
財源内訳	国庫補助金	3,764	10,503	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	1,561	1,550	0
	一般財源	53,464	59,803	73,709

【今後の方向性】

成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮 小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
コスト投入の方向性		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	行政事務のほとんどを電算処理に依存しているなかで、行政サービスの停滞をもたらすシステム障害を起こさないようプログラム及びセキュリティ強化を図ることが本事業の最大目標である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	安定的な稼働を継続させるには、機器、プログラム等システム全般に対する管理及び監視が不可欠である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	検討の余地がある	理由等	コスト減及び更なる安定稼働に向け、アウトソーシングが可能な電算処理、機器の管理及び監視について積極的に推進する。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	電算システム管理事業	コスト減及び更なる安定稼働に向け、アウトソーシングが可能な電算処理、機器の管理及び監視について積極的に推進する。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	業務処理、機器保守、プログラム保守に関する委託範囲の拡大
	2～3年以内に実施可能な改善提案	平成29年度予定のシステム及び機器更新による経年劣化機器の解消
改善状況	改善効果	・委託業務の拡大により、電算担当職員の事務量が軽減され他業務への関与が可能となる。 ・機器更新により、故障機器の解消及びレスポンスの向上が図られる。
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	総務部 総務グループ	内線
	電算主幹 河端 勲	306

27

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		02010202	担当グループ名		総務部 まちづくりグループ 住民活動担当
基本事業名		広聴事業			
総合計画の位置づけ	基本目標	06 創意と工夫を活かし、誇れるまち			
	施策(大区分)	01 情報を共有し、ともに進める			
	施策(中区分)	02 広報・広聴・住民参加			
	施策(小区分)	02 広聴の充実			
事業の概要		町民からの要望、苦情、相談などの総合的窓口として、関係部署と連携を図り対応する。特に町民相談は人権擁護委員と調停委員と一緒に、毎月1回定例的に「悩み心配ごと相談」を開設。緊急性ある案件には相談員と調整し対応を図る。また「定例行政相談」への受付・相談場所の提供支援を継続する。			
対 象		一般町民・団体			
目 的		町民の悩み・心配ごとの解消			

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
相談所開設数	定例・特設を含めた相談所開設の回数	回	11		14	14

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重 点 化
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥当性	有効性	効率性	事業の方向性 コスト 成果		
			決算額	決算額	予算額							
1	★	広聴事業	相談所の開催回数(回)			町は相談窓口の開設以外にも、人権擁護 委員等の啓発活動には一緒に協力して、 町民の人権意識を高める。	妥 当	高 い	高 い	維 持	拡 充	◎
			11	14								
			45	2,422	45							
										</		

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		45	2,422	45
財源内訳	国庫補助金		0	0
	道支出金		1,000	0
	地方債		0	0
	その他特定		0	0
	一般財源	45	1,422	45

【今後の方向性】

↑

成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮 小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	町民への相談機会を恒常的に提供している
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	町民からの相談を聴く体制は充実している
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	専門性や広い知識、経験を持つ各種相談員の対応は町民にも安心し受け入れられている



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	広聴事業	平成27年度は、特に人権啓発活動の委託事業を受け、特に小・中学生への人権啓発活動を充実展開でき、また秋には五木寛之氏の講演会開催で幅広い町民に向けて人権啓発が実施できた。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	特記事項無
	1年以内に実施可能な改善提案	相談員同士での情報交換の場があると、今後の相談業務に生かすことができる
	2～3年以内に実施可能な改善提案	定例等含めたの定例相談の開設数を減らさず、維持をしていく
改善状況	改善効果	各種相談員同士の情報交換で、資質向上にもつながっている
	改善の阻害要因	特記事項無し
	住民への影響及びフォロー	普段の生活における心配ごと・不安解消に資することができている

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	総務部 まちづくりグループ まちづくり主幹 露口哲也	内線 345
----------------------	-------------------------------	-----------

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		02010505	担当グループ名		総務部 まちづくりグループ 住民活動担当
基本事業名		国際交流事業			
総合計画の 位置づけ	基本目標	02 たがいに助けあい、温かなまちに			
	施策(大区分)	03 みんなでまちを育てる			
	施策(中区分)	03 地域間交流			
	施策(小区分)	02 国際交流の推進			

事業の概要	毎年、高校生短期交換留学事業として美幌高校からケンブリッジ高校に夏季休業期間に実施。双方の高校生が交換留学ができる制度で、ケンブリッジ地域と人的な交流や将来の人事材育成につなげている。生徒留学後は、町民にケンブリッジ高校の交流をパネル展開催で見てもらい、美幌との姉妹都市交流の理解を広める。
-------	---

対 象	美幌高校とケンブリッジ高校の両生徒
目 的	友好姉妹都市ケンブリッジとの交流事業により、両地域のまちづくりへの発展に、高校生の人材育成などに資する。

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
高校生による姉妹都市間交流	留学生生徒数	人	1		2	2

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		2,306	720	829
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	2,306	720	829
	一般財源	0	0	0

【今後の方向性】

成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	美幌高校・ケンブリッジ高校の交換留学事業がメイン
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	人的交流として高校生留学が実績を重ねており、留学事業として妥当である



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	国際交流事業	高校生短期留学事業は、毎年実施されて、姉妹都市交流の大きな事業である。長く留学事業を継続するため、双方が無理をしないで継続できる考えで推進していく。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	留学した高校生以外の他生徒にもケンブリッジ地域の良さを理解してもらうため、パネル展開催で町民にPRする
	1年以内に実施可能な改善提案	留学前に生徒たちに事前研修を実施して、渡航や留学に対してすぐ慣れるようにしたい
	2～3年以内に実施可能な改善提案	ケンブリッジ高校側の派遣時期や人数など、都合がつける条件整理をして、美幌への留学生受入を実施したい
改善状況	改善効果	ALT（外国語指導助手）の協力により計3回の事前研修を開催。実際の場面を想定した英会話やニュージーランドの習慣など、生徒が持つ留学に対する不安を少しでも解消できた。
	改善の阻害要因	特記事項無し
	住民への影響及びフォロー	留学後にはケンブリッジ高校で体験した交流様子をパネル展として実施。留学事業や姉妹都市交流の事業を町民に理解してもらう。

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	総務部 まちづくりグループ まちづくり主幹 露口哲也	内線 345
----------------------	-------------------------------	-----------

27

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		02010801		担当グループ名		総務部 まちづくりグループ 住民活動担当	
基本事業名		住民活動推進事業					
総合計画の位置づけ	基本目標	02 たがいに助けあい、温かなまちに	02 たがいに助けあい、温かなまちに	02 たがいに助けあい、温かなまちに			
	施策(大区分)	03 みんなでまちを育てる	03 みんなでまちを育てる	03 みんなでまちを育てる			
	施策(中区分)	01 コミュニティ	02 住民活動	04 男女共同参画			
	施策(小区分)	01 コミュニティ活動の促進	01 まちづくり活動の促進	01 男女共同参画に向けた意識づくり			
事業の概要		地域コミュニティ活動推進のため、集会室事業、くらし安全活動事業、男女共同参画推進事業、まちづくり活動奨励事業などと住民活動に係る幅広い事業推進を図る。					
対 象		自治会・自治会連合会・関係団体					
目 的		地域コミュニティ活動の推進・活性を図る					

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
地域集会所	地域集会所施設の箇所数	箇所	21		21	21
補助交付団体	町民全体に広く関わる補助団体数	団体	4		4	4
男女共同参画推進団体	男女共同参画プラン推進協議会	団体	1		1	1
まちづくり活動奨励の企画提案	企画提案の件数	件	1		2	3

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重点化
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1	★	地域集会室維持管理事業	地域集会室(数)			どの集会室施設も老朽化しており、施設の修理修繕が増える傾向。予定外に規模の大きい修繕も伴うことがある。	妥当	普通	高い	維持	維持	○
			21	21								
			16,966	4,046	5,160							
2	★	くらし安全活動推進事業	町民全体への効果のために団体と広く関わる(団体)			ふるさと祭りなど、大きな町民的な行事を開催したり、防犯や暴迫に関する啓発活動による意識を高める。	検討	普通	検討	維持	維持	○
			4	4								
			0	1,788	4,746							
3	★	男女共同参画プラン推進事業	補助団体数(団体)			プラン協議会の活動を町は支援協力することで、町民に広く男女共同参画社会の実現に向けた理解を深める。	妥当	普通	高い	維持	維持	
			1	1								
			0	47	55							
4	★	まちづくり活動奨励事業	補助交付件数(件)			団体等から提案される事業企画・内容が広く町民に還元され波及効果も広まるよう、事業効果に期待する。	妥当	普通	検討	維持	維持	
			1	2								
			0	645	2,000							
5	★	コミュニティ活動促進事業	町内の全自治会数(団体)			自治会活動の中心を担っている役員高齢化も今後の課題となってくる。自治会の活動範囲や役目も以前より広く多い。	妥当	高い	高い	維持	拡充	◎
			67	67								
			0	4,778	6,184							
6	★	地域集会室補修等整備事業	修繕件数(件)			集会室施設の老朽に伴う突発的な修繕が増えており、一件あたりの修繕規模や経費負担が大きくなる傾向。	妥当	高い	高い	拡大	維持	◎
			5	3								
			0	2,407	5,489							

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		16,966	13,711	23,634
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	5,647	2,674	6,971
	一般財源	11,319	11,037	16,663

【今後の方向性】

成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮 小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入の方向性					

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	各事務事業の波及効果が反映できている
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	推進に必要な事業内容が多く網羅されて実施している
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	町民の活動支援をする事業が中心であり、主体が自治会や関係団体であり妥当



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	地域集会室維持管理事業	公共施設等総合管理計画により、集会室施設を適正に維持管理する計画を図る。
	くらし安全活動推進事業	町が美幌町ふるさと祭り運営・開催の全面的支援と、防犯・暴走活動への協力を団体と一緒に進めることで、町民全体に安全で安心なまちづくりに資することとする。
	男女共同参画プラン推進事業	研修派遣の人員増によるリーダー的役割の人材育成や、講演会開催の動員を図り広く啓発を浸透させる
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	町と自治会や団体が協働してコミュニティ活動を推進していく
	1年以内に実施可能な改善提案	男女共同参画を推進するプラン協議会委員が研修参加の機会を増やす。また、ふるさと祭り運営改善に向け、寄せられた意見や反省点を委員会で議論し可能なものは実行して、広く町民に受け入れられる運営に努める
	2～3年以内に実施可能な改善提案	集会室施設の修理修繕には計画性を持ち長寿命化を図る
改善状況	改善効果	自治会連合会や単位自治会、防犯関係団体ははじめとして、普段より良好な関係を保ちながら、一緒に事業推進している
	改善の阻害要因	自治会や組織団体の役員などの高齢化が進んでいる
	住民への影響及びフォロー	町民全体に及ぶ事業が多く町民の意見等を参考として事業に反映しながら、事業充実を図る

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	総務部 まちづくりグループ	内線
	まちづくり主幹 露口哲也	345

27

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		02011102	担当グループ名		総務部 まちづくりグループ 住民活動担当
基本事業名		自主防災活動推進事業			
総合計画の位置づけ	基本目標	03 きまりを守り、明るいまちに			
	施策(大区分)	02 災害に強いまちにする			
	施策(中区分)	01 防災体制の充実、強化			
	施策(小区分)	02 防災意識の向上、防災組織の育成			
事業の概要		自治会連合会と協力連携しながら、自主防災リーダー養成の人材育成、防災資機材や収納庫の整備配置を促進して、環境整備を整える			

対 象	自治会
目 的	町民の防災知識・技術を習得してもらい、自分たちの地域は自ら守り、自主防災活動への環境整備を図る

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
防災資機材配備完了の自治会数	防災資機材整備を整えてた自治会数	箇所	26		27	28

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重点化	
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥当性	有効性	効率性	事業の方向性	コスト		成果
			決算額	決算額	予算額								
1	★	自主防災活動推進事業	自主防災資機材の整備自治会数(箇所)			自治会の負担軽減のために整備費用の補助支援を充実させる必要あり。災害発生時は、地域住民による初動が大変重要。	妥当	高い	高い	拡大	拡充	◎	
			25	26									
			119	1,587	250								
				</									

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		119	1,587	250
財源内訳	国庫補助金		0	0
	道支出金		700	0
	地方債		0	0
	その他特定		0	0
	一般財源	119	887	250

【今後の方向性】

↑

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
					コスト投入の方向性

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の観点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	設置箇所の実績が把握でき適切である
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	当該事業は自治会への補助金交付により支援しており、自治会の自主性も損なわない形で実施している
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	自治会単位への補助事業のため妥当



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	自主防災活動推進事業	自治会で資機材保有のためには、設置場所や保管収納物置の整備が必要であることから、保管物置購入に係る補助限度額を引き上げ、未配備自治会に対する改善を図る。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	設置未自治会に対しての事業周知を図る
	1年以内に実施可能な改善提案	収納庫購入補助に対する上限額を引き上げることで、資機材購入
	2～3年以内に実施可能な改善提案	防災資機材・収納庫整備の初期導入段階から、既存整備への充実を図る検討
改善状況	改善効果	設置数が増えてきており効果が見られる
	改善の阻害要因	予算支出が増加する
	住民への影響及びフォロー	安心安全に直結する物質整備が図られ充実

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	総務部 まちづくりグループ まちづくり主幹 露口哲也	内線 345
----------------------	-------------------------------	-----------

27

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		02010601		担当グループ名	総務部 まちづくりグループ 交通安全担当
基本事業名		生活バス路線等維持事業			
総合計画の位置づけ	基本目標	04 環境を整え、美しいまちに			
	施策(大区分)	03 快適な基盤をつくる			
	施策(中区分)	05 公共交通			
	施策(小区分)	02 バス路線の充実			
事業の概要		混乗スクールバス等の町保有車両を利用して、町事業及び関係する住民団体に「多目的バス」として無償利用する			

対 象	役場、町事業の関連団体
目 的	町が保有するバス車両を活用し、役場業務や関係団体の利用に供し事業推進を図る

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
運行実績	走行キロ数	km	22,000		16,280	18,240

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重点化
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1	★	生活バス路線運行事業	運行実績(km)			多目的バスの利用は、原則町有バスで運行のため、利用申込みが集中すると、別に貸切バスを借り上げ対応となる。	妥当	普通	高い	維持	維持	○
			22,295	14,997								
			25,463	49,188	8,066							
2	★	駅前バスターミナル維持管理事業	適正管理度合(件)			利用者からの苦情を減らし、快適な利用を進める	妥当	普通	検討	維持	維持	
			0	1								
			915	1,988	957							
3	★	公共交通維持確保改善事業	運行バス路線(本)			町内で運行するバス路線、乗合タクシー路線などの地域交通の路線は、国や地方自治体の補助により確保されている。	妥当	高い	高い	拡大	維持	○
			7	7								
			0	0	0							

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		26,378	51,176	9,023
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	4,851	9,322	217
	一般財源	21,527	41,854	8,806

【今後の方向性】

成果の方向性

拡大

維持

縮小

休廃止

×

×

×

廃止

×

×

×

×

協働化

効率性向上

縮小

縮小

生産性向上

現状維持

×

×

拡大基調

×

×

×

皆減

縮小

維持

拡大

コスト投入の方向性

↑

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	利用状況から事業進捗がわかるため適切
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	事業は町が実施し、バス運行は地元バス会社に業務委託しており妥当である
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	町事業として実施しており妥当



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	生活バス路線運行事業	多目的バスの利用は、原則要綱に沿い、役場業務と関係する利用に限ること等、利用者に理解と制度周知を図る
	駅前バスターミナル維持管	利用者、管理者からの利用に対する意見反映
	公共交通維持確保改善事業	国・道の補助が安定的に継続されることが、路線維持確保の前提であり、国の動向について情報収集する。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	役場の関係部署からの申請・利用にして要綱周知を図る
	1年以内に実施可能な改善提案	適正利用をその都度確認しながら実施していく
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	予約段階で、多目的バスの予約状況を見たり活用できる共通データを作成。
	改善の阻害要因	バス利用の申請部署と、受付や予算執行の部署が別のため、予約申請と配車運行の調整が煩雑となる
	住民への影響及びフォロー	住民利用には広範囲に認めて行っており、利用者の満足度は高い

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	総務部 まちづくりグループ まちづくり主幹 露口哲也	内線 345
----------------------	-------------------------------	-----------

基本事業コード	07010302	担当グループ名	総務部 まちづくりグループ 総合戦略担当
基本事業名	移住定住促進事業		
総合計画の位置づけ	基本目標	02 たがいに助けあい、温かなまちに	
	施策(大区分)	03 みんなでまちを育てる	
	施策(中区分)	03 地域間交流	
	施策(小区分)	01 国内交流の推進	

事業の概要	美幌町の自然豊かな環境と利便性が良く住みやすい点をPRし、移住・定住の促進を図るとともに、交流人口の増加を図る。
-------	--

対象	町外の移住希望者
目的	美幌町への移住・定住を促進するとともに、より多くの方に興味を持ってもらう。

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
「ちょっと暮らし」利用件数	「ちょっと暮らし」年間利用件数	件	3		2	6

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事務事業名 (★＝実施計画事業)		事務事業指標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重点化
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1	★	移住定住促進事業	移住体験者（組）数(組)			「ちょっと暮らし」体験住宅が、平成27年度の時点で1棟しかないため、受入件数に限りがあることが課題である。	妥当	高い	検討	拡大	維持	◎
			32									
			137193898									

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		137	193	898
財源内訳	国庫補助金		0	0
	道支出金		0	0
	地方債		0	0
	その他特定		44	198
	一般財源	137	149	700

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
	皆減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	「ちょっと暮らし」から移住につながる可能性があるため
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	妥当
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	適切である



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	移住定住促進事業	移住体験住宅に活用可能な住宅の確保
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	2棟目・3棟目の「移住体験住宅」の整備
改善状況	改善効果	「移住体験住宅」整備以降、移住体験の申込みが多いため、今後も「移住体験住宅」の整備を行い移住体験者を増やすことにより、事業目的である「移住」「二地域居住」「シーズンステイ」につながる可能性がある。
	改善の阻害要因	「移住体験住宅」として適当な空き家が見つからない。
	住民への影響及びフォロー	「移住体験住宅」所在の自治会に滞在期間等の周知を行う必要がある（見知らぬ人が出入りしていると近所の方が不安になる可能性があるため）。

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	総務部 まちづくりグループ	内線
	計画担当	330

27

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		02010501		担当グループ名		総務部 まちづくりグループ 政策担当	
基本事業名		政策推進事業					
総合計画の位置づけ	基本目標	01	元気で働き、豊かなまちに				
	施策(大区分)	01	健康を保つ				
	施策(中区分)	01	保健				
	施策(小区分)	01	総合的な体制の充実				
事業の概要		平成23年4月施行の美幌町自治基本条例に基づく理念を啓発する。町民、NPO等と協働し、町民が主役のまちづくりを推進する。また、総合計画の基本構想及び基本計画に掲げた政策や施策の内容をより具体的に示しながら推進、進捗管理を行う。					
対 象		町民					
目 的		町民が町政に参加し、まちづくりに主体的にかかわるようにする。					

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
アクションプランの達成率	達成数／アクションプラン数×100	%	71		74	80
寄附金件数		件	1,088		3,211	2,800

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重点化
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1	★	まちづくり推進事業	まち育新聞の発行(回)				妥当	高い	検討	維持	拡充	○
			2	1								
			1,374	323	426							
2		政策推進事務	各種制度説明会等参加回数(回)				妥当	普通	高い	維持	維持	
			3	3								
			14,532	88	2,107							
3	★	総合計画策定事業	「びほろ」みらいまちづくり会議開催(回)				妥当	高い	高い	-	完了	◎
			9	8								
			3,440	3,317	0							
4	★	ふるさと寄附金事業	寄附件数(件)			寄附者に対する謝礼を多数の謝礼品の中から選択できるようにし、ネット申込み及びクレジット決済で寄附者が増えた。計画どおり進んでいる。	妥当	高い	高い	拡大	拡充	◎
			1,088	3,211								
			0	79,224	65,924							
5	★	町史編さん事業	予算執行状況(%)				妥当	高い	高い	維持	拡充	○
			7	40								
			0	11,204	12,265							
6	★	まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業	美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会の開催回			27年度を始期とする計画であるため、美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会によるPDCAサイクルをどのように	妥当	普通	検討	維持	維持	○
			0	8								
			0	3,164	404							

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		19,346	97,320	81,126
財源内訳	国庫補助金	0	2,500	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	9,829	78,633	65,000
	一般財源	9,517	16,187	16,126

【今後の方向性】

↑

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
					コスト投入の方向性

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	事業目的である「町民主体の自治」を実現するための進行管理及び推進のため。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	政策を推進する上で、必要不可欠な事業で構成されている。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	他の実施主体は考えられない。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	まちづくり推進事業	行政主導で開催していたまちづくり講演会等は終了し、次年度以降も更なる協働の推進を図るべく、町民主体の講演会等を開催してもらうため、まちづくり活動奨励事業補助金等を活用してもらう。
	ふるさと寄附金事業	宣伝方法や謝礼品を見直して寄附者を増やす。また今後、リピーターを増やす（確保）ことも重要であることから、「（仮称）美幌町ふるさと応援団」などの制度設計について検討。
		美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員と協議を重ねながら、効率良くかつ効果的な方法を考えていく。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	「ふるさと寄附金」に関して、事業者に対する説明会を開催し埋もれている特産品などの掘り起しを行う。
	1年以内に実施可能な改善提案	寄附金の使い途としての事業の選定。 協働のマニュアルの作成。
	2～3年以内に実施可能な改善提案	「ふるさと寄附金」のリピーター率を上げるため、「ふるさと応援団」などの制度設計。
改善状況	改善効果	「ふるさと寄附金」に関しては、他自治体との差別化を図った取り組み（希少な謝礼品や事業立て）を行うことにより、寄附の増加や、交流人口等の増加も期待される。
	改善の阻害要因	新たな特産品をつくる環境が整っていない。
	住民への影響及びフォロー	特産品や地場産業への波及効果や交流人口の増加が期待され、商店街等が活性化される。ゆくゆくは、移住・定住にもつながる。

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	総務部 まちづくりグループ	内線
	政策主幹 小室 秀隆	326

(主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書)

基本事業コード		03010503	担当グループ名		民生部 保健福祉グループ 障がい福祉担当
基本事業名		障害者自立支援事業			
総合計画の 位置づけ	基本目標	02 たがいに助けあい、温かなまちに			
	施策(大区分)	02 地域で支え合う			
	施策(中区分)	03 障がい福祉			
	施策(小区分)	02 障がい者の自立生活の支援			

事業の概要	個々の障がいのある方々の障がい程度や勘案すべき事項（社会活動や介護者、居住等の状況）を踏まえ、個別に決定する「障害福祉サービス」と、町の創意工夫により利用者の方々状況において柔軟に実施できる「地域生活支援事業」を総合的に行う。
-------	--

対 象	障がい者
目 的	自立した日常生活、社会生活を営むことができるようにする。

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
障害者総合支援法に基づく支援給付費	給付により自立した日常生活、社会生	件	4,332		4,252	4,300
地域生活支援事業利用件数	給付により自立した日常生活、社会生	件	958		902	600

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		596,729	599,619	625,921
財源内訳	国庫補助金	299,876	289,064	303,155
	道支出金	148,960	145,282	152,142
	地方債	0	0	0
	その他特定	6,611	30	1
	一般財源	141,282	165,243	170,623

【今後の方向性】					
成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の観点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	障害者総合支援法は、障がい者が地域で安心して暮らし、サービスを必要とする方にサービス提供できることを目的としている。また、地域の創意工夫による地域生活支援事業を実施しており、概ねサービス提供が達成されている。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	自立した日常生活、社会生活を営むための事業で構成されている。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	法律に基づく事業であり、他の実施主体は考えられない。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	地域生活支援事業	事業内容を検討する。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	民生部 保健福祉グループ 福祉主幹 遠藤 明	内線 350
----------------------	---------------------------	-----------

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		44010101		担当グループ名		教育委員会 社会教育グループ 社会教育担当	
基本事業名		介護予防事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	02 たがいに助けあい、温かなまちに	01 元気で働き、豊かなまちに				
	施策(大区分)	02 地域で支え合う	01 健康を保つ				
	施策(中区分)	02 高齢者福祉	01 保健				
	施策(小区分)	04 高齢者の社会参加、生きがい活動	03 介護予防の推進				

事業の概要	高齢社会を迎え、高齢者が充実した生活を送るために自ら進んで学習活動や社会的活動を続け主体的に生きていくことが求められていることから、「明和大学」を開講する。また、生活習慣病の予防、介護予防、その他健康に関して、個々に応じた指導助言を行うとともに、しゃきっとプラザの施設を使用した高齢者を中心とする積極的な健康づくりを支援する。
-------	---

対 象	65歳以上の町民
目 的	生きがいのある生活を送り、積極的な社会参加及び健康状態を維持増進し、要介護状態への移行を予防する。

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
新入学者数	前年度実績+10%	人	19		15	17
介護予防健康教育実施回数	概ね65歳以上を対象の健康教育実施回数	回	69		53	60

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		8,908	9,509	10,612
財源内訳	国庫補助金	0	0	2,649
	道支出金	0	0	1,325
	地方債	0	0	0
	その他特定	0	0	4,307
	一般財源	8,908	9,509	2,331

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	高齢者の社会参加等を計る指標である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	高齢者の生きがい創出、社会参加に必要な事業である。 運動指導員等と連携を図り地域にも出向き介護予防教育を実施し広く介護予防の普及啓発を図る。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	介護予防のために実施している事業でもあるため、町主体が妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	二次予防事業	H28年度は、国保病院の理学療法士の協力により、機能評価に基づいた個別運動プログラムを提供する。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	入学者増に向け、広報や報道による周知に加え、勧誘方法を検討する。 新入生申込みの受付開始前に説明会を開催し、早期の勧誘を図る。 公開授業の開催、相談会の開催、ワンコインバスの利用促進のための授業開始時間を遅くするなど対策をとる。
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	しゃきっとプラザ運動指導室、健康遊浴施設の効果的な利用により健康維持及び増進が図られる。 効果的な運動指導や健康教育により、高齢者の生活の質の向上が図られる。
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担 当 主 幹 名)	教育委員会 社会教育グループ	内線
	社会教育主幹 荒井紀光子	72-2300

基本事業コード		04010101		担当グループ名		民生部 保健福祉グループ 健康推進担当	
基本事業名		保健衛生推進事業					
総合計画の 位置づけ	基 本 目 標	01 元気で働き、豊かなまちに	01 元気で働き、豊かなまちに				
	施策(大区分)	01 健康を保つ	01 健康を保つ				
	施策(中区分)	02 医療	01 保健				
	施策(小区分)	03 救急医療体制の充実	01 総合的な体制の充実				

事業の概要	町の保健医療体制の整備、推進を行うため関係機関、団体等を支援する。
-------	-----------------------------------

対 象	各種保健・医療関係団体
目 的	各団体の活動を支援し、保健医療体制の整備、推進を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
休日・祝祭日・年末年始の在宅当番医開	在宅当番医開設割合	%	100		100	100
医療従事者就業支援等補助該当者数	補助該当者で申請者への補助率	%	100		100	100

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事務事業名 (★＝実施計画事業)		事務事業指標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重点化
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1	★	保健衛生推進事務	休日当番医開設割合(%)				妥当	普通	高い	維持	維持	○
			100	100								
			3,701	3,898	4,161							
2		各種団体負担事業	各種保健・医療関係団体数(団体数)				妥当	普通	高い	維持	維持	
			3	5								
			728	754	754							
3	★	救急告示公の病院等運営費補助事業	救急告示公の病院数(病院)				妥当	普通	高い	維持	維持	
			2	2								
			5,000	5,000	5,000							
4	★	医療従事者就業支援等補助事業	補助該当者数(%)				妥当	普通	高い	拡大	拡充	
			100	100								
			3,579	4,684	9,150							

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		13,008	14,336	19,065
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	4,600	9,100
	その他特定	1,203	1,260	1,260
	一般財源	11,805	8,476	8,705

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
	コスト投入の方向性				
	皆減	縮小	維持	拡大	

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	保健医療体制の整備、推進のため
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	保健医療体制の整備、推進のため必要不可欠な事業である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	各種保健・医療関係団体等への支援のため



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
基本事業を構成する事務事業の見直し	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
基本事業を構成する事務事業の見直し	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	医療従事者就業支援等補助制度のPRの推進
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	さらにPRすることで制度が浸透し、看護師等医療従事者の雇用が促進され、医療の安定的な確保が図られる。
	改善の阻害要因	医療従事者就業支援等補助金は、H28年度予算額9,150千円と財政負担が大きい。
	住民への影響及びフォロー	潜在看護師等の掘り起こし、社会参加への誘導効果が期待される。

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	民生部 保健福祉グループ 健康推進主幹 佐藤和恵	内線 360
----------------------	-----------------------------	-----------

27

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		04010204		担当グループ名		民生部 保健福祉グループ 健康推進担当	
基本事業名		健康づくり事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	01 元気で働き、豊かなまちに					
	施策(大区分)	01 健康を保つ					
	施策(中区分)	01 保健					
	施策(小区分)	02 保健予防、保健指導の推進					
事業の概要		健康増進法に基いた成人期等を対象とする健康教育、健康相談、健康診査により生活習慣病の予防、早期発見、早期治療を促し、住民の健康増進を図る。					
対 象		町民（成人期、高齢期）					
目 的		健康の保持増進					

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
大腸がん受診率	大腸がん受診数／対象数	%	14.7		16.1	20
健診結果相談会来所率	健診結果相談会来所率	%	49.3		47.3	50
ヘルスリーダー活動推進事業実施回数	養成講座、伝達講習、学習会実施回数	回	20		13	20
健康増進計画推進会議回数	健康増進会議実施回数	回	1		1	1

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重点化
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1	★	各種がん健診等実施事業	大腸がん受診率(%)			胃がん健診受診率は年々低下しており、医療機関で内視鏡検査を実施している人が増加傾向にある。	妥当	低い	高い	拡大	拡充	◎
			15	16								
			16,566	14,145	22,642							
2	★	健康診査実施事業	特定健診受診者数(人)			脳ドックは美幌クリニックの開院に伴い、実施医療機関が町外（北見、網走）となったことで、受診者数が減っている。	妥当	普通	高い	維持	維持	○
			306	319								
			6,516	6,101	7,485							
3	★	ヘルスリーダー活動推進事業	養成講座・伝達講習会・学習会実施回数(回)			ヘルスリーダー養成講座（全9回）は、2年に1回の開催で、平成28年度は第8期となる。	妥当	高い	高い	維持	維持	○
			20	13								
			298	194	514							
4	★	健康教育相談事業	健診結果相談会来所率(%)			個人が自身の都合に合わせて来所できる健康相談の実績は伸びているが、働き世代に対する健康教育は年々減少している	妥当	普通	高い	維持	維持	○
			49	47								
			3,805	488	1,424							

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		27,185	20,928	32,065
財源内訳	国庫補助金	1,052	199	34
	道支出金	786	486	869
	地方債	0	0	0
	その他特定	12,364	9,950	15,130
	一般財源	12,983	10,293	16,032

【今後の方向性】

↑

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
			コスト投入の方向性		

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	改善の余地がある	理由等	健康教育実施回数は、対象者が概ね65歳以上となり介護予防事業計上となることから、健康増進法、健康増進計画等に基づく長期的な評価が可能な指標を設定する。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	各種がん健診等実施事業	大腸がん、乳がん、子宮頸がん検診で、町単独に節目年齢対象に無料クーポンを実施する。 新規に、肺がん集団検診で低線量CT検査、胃がん集団検診としてピロリ菌検査を導入する。
	健康診査実施事業	受診勧奨、広報チラシ等の周知を継続する。
	健康教育相談事業	企業向けの健康教育の実施に向けて、出前講座の周知をするなど、若い世代への働きかけを強化する。 妊娠届出時や各種健診、健康教育など機会を捉えて、禁煙・分煙を推進する。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	北見市内関係医療機関において、子宮頸がん検診町独自クーポン券を利用できるよう調整する。 中学生ピロリ菌検査を学校検診に併せて実施する。
	1年以内に実施可能な改善提案	肺がん検診に低線量CT検査を導入する。 胃がん検診において、成人ピロリ菌検査（便中抗原検査）を実施する。 子宮頸がん、乳がん、大腸がん検診において、町独自節目無料クーポン券を配布する。
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	肺がん検診の精度向上が図られる。 ピロリ菌除菌により、胃疾患を予防し、将来的な胃がんのリスクを抑制する。 子宮頸がん、乳がん、大腸がん検診の受診率向上が期待される。
	改善の阻害要因	予算（検査委託料等）を要する。
	住民への影響及びフォロー	疾病の早期発見、早期治療により医療費の削減が図られる。 町民の健康保持及び増進が図られる。

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	民生部 保健福祉グループ 健康推進主幹 佐藤和恵	内線 360
----------------------	-----------------------------	-----------

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		04010102		担当グループ名		民生部 保健福祉グループ 民生担当	
基本事業名		乳幼児医療費助成事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	02 たがいに助けあい、温かなまちに	02 たがいに助けあい、温かなまちに				
	施策(大区分)	01 次代を担う子を育てる	01 次代を担う子を育てる				
	施策(中区分)	01 児童福祉	01 児童福祉				
	施策(小区分)	02 母子の健康管理や経済支援の充実	03 ひとり親福祉の充実				
事業の概要		乳幼児等に対し、医療費の一部を助成することにより、保健の向上に資するとともに福祉の充実を図る。					
対 象		乳幼児等の保護者					
目 的		医療費の一部を助成し、保健の向上及び負担の軽減を図る。					

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
受給者証交付者数		人	955		897	1,000

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		24,973	27,036	33,723
財源内訳	国庫補助金	0	765	863
	道支出金	9,861	10,355	10,913
	地方債	0	0	0
	その他特定	533	279	583
	一般財源	14,579	15,637	21,364

【今後の方向性】

成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	北海道給付事業に基づく給付手続を行う事務であり、適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	乳幼児等家庭の医療費負担軽減を図るため、北海道の基準に町独自の上乗せ助成を行っている。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	乳幼児等医療費助成事業は扶助事業である。また、養育医療給付事業は平成25年度より北海道から権限移譲されているため、他の実施主体は考えられない。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
基本事業を構成する事務事業の見直し	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
基本事業を構成する事務事業の見直し	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	民生部 保健福祉グループ 福祉主幹 遠藤 明	内線 350
----------------------	---------------------------	-----------

基本事業コード	03020201	担当グループ名	民生部 児童支援グループ 美幌保育園担当
基本事業名	美幌保育園管理運営事業		
総合計画の位置づけ	基本目標	02 たがいに助けあい、温かなまちに	
	施策(大区分)	01 次代を担う子を育てる	
	施策(中区分)	02 保育	
	施策(小区分)	01 保育園(所)の充実	

事業の概要	児童福祉法に基づき、保育を必要とする児童の養護と保育を行うと共に、保護者の子育てと就労の両立を支援する。美幌保育園の児童が、安全かつ快適に生活し、良好な保育を受けられるように、保育園施設環境を整える。
-------	--

対 象	保育を必要とする就学前の児童及び一時預かりを必要とする児童と保護者。
目 的	児童が安全でかつ快適に生活できる良好な環境を提供し、児童の心身の健康を保障する。また、保護者が安心して就労と子

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
保育園受入率	受入児童数/入園希望児童数×100	%	100		100	100
施設による事故発生件数	施設による事故発生件数	件	0		0	0

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事務事業名 (★＝実施計画事業)		事務事業指標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重点化
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1		美幌保育園運営事業	保育園受入率(%)			目標を達成した。	妥当	普通	高い	拡大	拡充	
			100	100								
			28,978	31,482	32,084							
2		美幌保育園管理事業	施設による事故発生件数(件)			目標を達成した。	妥当	普通	高い	維持	維持	
			0	0								
			5,706	3,336	5,202							

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		34,684	34,818	37,286
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	72	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	3,551	3,551	1,606
	一般財源	31,061	31,267	35,680

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
	皆減	縮小	維持	維持	拡大
コスト投入の方向性					

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	児童の心身の健康を保障し、保護者が安心して就労と子育ての両立ができる保育サービスを提供することを重視した指標設定のため。 良好な保育ができる保育園施設環境を整備することを重視した指標設定のため。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	必要不可欠な事業で構成されている。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	町内に担える団体等がない。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	美幌保育園運営事業	障がい児や支援を必要とする児に対しては、補助保育士を雇用して対応する。
	美幌保育園管理事業	施設の老朽化に伴う補修、改修等が必要になったので実施する。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	障がい児や支援を必要とする児に対しては、補助保育士を雇用して対応する。 園庭遊具や駐車場、小便器センサーを修繕を行う。
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	保育ニーズに合った保育環境が提供できる。 児童の安心安全かつ快適な保育環境の整備が図られる。
	改善の阻害要因	コスト拡充が必要である。
	住民への影響及びフォロー	児童福祉の充実が図られる。

基本事業執行責任者 (担 当 主 幹 名)	民生部 児童支援グループ	内線
	児童支援主幹 武田孝司	260

基本事業コード	03020202	担当グループ名	民生部 児童支援グループ 東陽保育園担当
基本事業名	東陽保育園管理運営事業		
総合計画の位置づけ	基本目標	02 たがいに助けあい、温かなまちに	
	施策(大区分)	01 次代を担う子を育てる	
	施策(中区分)	02 保育	
	施策(小区分)	01 保育園(所)の充実	

事業の概要	児童福祉法に基づき、保育を必要とする児童の養護と保育を行うと共に、保護者の子育てと就労の両立を支援する。東陽保育園に児童が、安全かつ快適に生活し、良好な保育を受けられるように、保育園施設環境を整える。
-------	--

対 象	保育を必要とする就学前の児童及び一時預かり保育を必要とする児童と保護者。
目 的	児童が安全かつ快適に生活できる良好な環境を提供し、児童の心身の健康を保障する。また、保護者が安心して就労と子

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
保育園受入率	受入児童数／入園希望児童数×100	%	100		100	100
施設による事故発生件数	施設による事故発生件数	件	0		0	0

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事務事業名 (★＝実施計画事業)		事務事業指標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重点化
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1		東陽保育園管理事業	施設による事故発生件数(件)			目標を達成した。	妥当	普通	高い	維持	維持	
			0	0								
			4,898	3,852	3,928							
2		東陽保育園運営事業	保育園受入率(%)			目標を達成した。	妥当	普通	高い	縮小	維持	
			100	100								
			24,727	27,479	26,870							
</												

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		29,625	31,331	30,798
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	98	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	2,887	2,964	1,527
	一般財源	26,640	28,367	29,271

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
	皆減		縮小	維持	拡大
	コスト投入の方向性				

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	児童の心身の健康を保障し、保護者が安心して就労と子育ての両立ができる保育サービスを提供することを重視した指標設定のため。 良好な保育ができる保育施設環境を整備することを重視した指標設定のため。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	必要不可欠な事業で構成されている。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	町内に担える団体等がない。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	東陽保育園管理事業	施設の老朽化に伴う補修、改修等が必要になったので実施する。
	東陽保育園運営事業	障がい児や支援を必要とする児に対しては、補助保育士を雇用して対応する。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	障がい児や支援を必要とする児に対しては、補助保育士を雇用して対応する。 園庭遊具修繕や器具等小破修繕を行う。
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	保育ニーズに合った保育環境が提供できる。 児童の安心安全かつ快適な保育環境の整備が図られる。
	改善の阻害要因	コスト拡充が必要である。
	住民への影響及びフォロー	児童福祉の充実が図られる。

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	民生部 児童支援グループ	内線
	児童支援主幹 武田孝司	260

(主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書)

基本事業コード		03020101	担当グループ名		民生部 児童支援グループ 業務担当
基本事業名		児童福祉事務			
総合計画の 位置づけ	基本目標	02 たがいに助けあい、温かなまちに			
	施策(大区分)	01 次代を担う子を育てる			
	施策(中区分)	01 児童福祉			
	施策(小区分)	01 子育てに関する相談・指導の充実			

事業の概要	子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育てをめぐる現状と課題に対して、社会全体による費用負担を行いながら、「質の高い幼児期学校教育・保育の総合的な提供」「保育の量的・拡大」「地域の子ども・子育て支援の充実」に向けた取り組みを推進していく。
-------	---

対 象	町内に居住する児童及び保護者
目 的	安心して子育てができる環境を整備するため。

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
協議会設置件数	協議会設置件数	件	1		1	1
施設型給付費支給施設数	施設型給付費支給施設数	件	0		3	3
補助対象民間保育園数	補助対象民間保育園数	園	1		1	1

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		14,290	102,661	103,237
財源内訳	国庫補助金	0	30,010	25,973
	道支出金	3,525	26,878	23,662
	地方債	0	0	0
	その他特定	0	117	0
	一般財源	10,765	45,656	53,602

【今後の方向性】					
成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の観点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	児童福祉の向上を図るためには、適切な指標である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	必要不可欠な事業で構成されている。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	行政が担えない部分は、NPO法人等民間事業所をお願いしている。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	次世代育成支援推進事業	子ども・子育て支援新制度に伴い、認定子ども園に対し施設型給付費を支給する。
	民間保育園利用者補助事業	平成28年度から保育料の多子軽減を行う。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	子ども・子育て支援新制度の導入により、認定子ども園等に対し施設型給付費を支給する。 民間保育園に通園している利用者の保護者に対し、多子軽減を含めた保育料の一部を補助する。
	2～3年以内に実施可能な改善提案	子ども・子育て支援事業計画に策定された事業を展開していく。
改善状況	改善効果	子ども・子育て支援新制度の導入により、子育て世帯の負担軽減が図られる。 民間保育園に通園している利用者の保護者に対し、保育料の一部を補助することにより、経済的な支援が図られる。
	改善の阻害要因	子ども・子育て支援新制度の財源が、延期となった消費税のアップ分を充当することにしており、十分とは言えない財源でどこまで賄えるのか未知数である。
	住民への影響及びフォロー	子ども・子育て支援事業計画を着実に推進することにより、子育て支援の充実が図られる。

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	民生部 児童支援グループ	内線
	児童支援主幹 武田孝司	260

(主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書)

基本事業コード		03020106	担当グループ名	民生部 児童支援グループ 業務担当
基本事業名		児童センター運営事業		
総合計画の 位置づけ	基本目標	02 たがいに助けあい、温かなまちに		
	施策(大区分)	01 次代を担う子を育てる		
	施策(中区分)	02 保育		
	施策(小区分)	02 学童保育の充実		

事業の概要	児童が各種行事や遊びをとおして自主的に参加し、安全に過ごすことのできる放課後や週末の居場所を提供する。
-------	---

対 象	児童とその保護者。
目 的	児童に健全な遊びの場を提供することにより、児童の豊かな人間性を形成し、児童の健全育成を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
施設による事故発生件数	施設による事故発生件数	件	0		0	(

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		5,759	6,136	7,214
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	16	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	0	0	0
	一般財源	5,743	6,136	7,214

【今後の方向性】

成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮 小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
コスト投入の方向性		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	児童に健全な遊び場を提供する目的から、安全かつ快適な活動環境の整備が必要であることから、適切な指標である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	必要不可欠な事業で構成されている。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	町内に担える団体等がない。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	児童センター運営事業	ギャラリー(2階)の床の傷みが激しいため、安心・安全に利用できるよう修繕を実施する。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	ギャラリー(2階)の床の傷みが激しいので修繕を実施し、安全な環境整備が図られる。
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	児童に健全な遊び場を提供する目的から、安全かつ快適な活動環境の整備が図られる。
	改善の阻害要因	ギャラリー(2階)の床修繕中は、利用できない。
	住民への影響及びフォロー	児童が安全に過ごすことのできる放課後や週末の居場所を提供できる。

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	民生部 児童支援グループ	内線
	児童支援主幹 武田孝司	260

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		03020301	担当グループ名	民生部 児童支援グループ 業務担当
基本事業名		季節保育所管理運営事業		
総合計画の 位置づけ	基本目標	02 たがいに助けあい、温かなまちに		
	施策(大区分)	01 次代を担う子を育てる		
	施策(中区分)	02 保育		
	施策(小区分)	01 保育園(所)の充実		

事業の概要	地方産業の繁忙期等季節的に保育を必要とする児童に対し、保護者に代わって保育し、次代を担う児童の健全育成、資質の向上を図るとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援する。
-------	--

対 象	保育を必要とする児童及び保護者。
目 的	安全、安心な環境で保育を行う事により、保護者が就労と子育ての両立ができる保育サービスを提供する。

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
保育所受入率	保育所受入率	%	100		100	100
施設による事故発生件数	施設による事故発生件数	件	0		0	0

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		16,468	10,980	10,654
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	2,868	2,305	177
	一般財源	13,600	8,675	10,477

【今後の方向性】

成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮 小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	保護者が就労と子育ての両立ができる保育サービスを提供する指標設定のため。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	必要不可欠な事業で構成されている。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	町内で担える団体等がない。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
基本事業を構成する事務事業の見直し	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
基本事業を構成する事務事業の見直し	休廃止する事務事業名	休廃止する理由
	季節保育所運営事業	時代のニーズにより入所児童が減ってきており、保護者と協議した結果、平成28年度は保育所を開設する。

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	時代のニーズにより入所児童数が減ってきており、平成28年度末をもって季節保育所の閉所を検討する。
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	仮に季節保育所を閉所しても保護者のニーズにあった保育環境が提供できる。
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	仮に季節保育所を閉所しても保護者のニーズにあった幼稚園や保育所を選択できる。

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	民生部 児童支援グループ	内線
	児童支援主幹 武田孝司	260

(主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書)

基本事業コード		03020401	担当グループ名		民生部 児童支援グループ 業務担当
基本事業名		へき地保育所管理運営事業			
総合計画の 位置づけ	基本目標	02 たがいに助けあい、温かなまちに			
	施策(大区分)	01 次代を担う子を育てる			
	施策(中区分)	02 保育			
	施策(小区分)	01 保育園(所)の充実			

事業の概要	地域において保育を必要とする児童に対し、保護者に代わって養護と保育をし、次世代を担う児童の健全育成、資質の向上を図るとともに保護者の子育てと就労の両立を支援する。
-------	---

対 象	保育を必要とする児童及び保護者
目 的	地域において安心・安全な環境での保育を行うことにより保護者が就労と子育ての両立ができる保育サービスを提供する

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
保育所受入率	受入児童数／入所希望児童数×100	%	100		100	100
施設による事故発生件数	施設による事故発生件数	件	0		0	0

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事 業 費 の 合 計 (千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		25, 448	29, 833	34, 686
財 源 内 訳	国 庫 補 助 金	9, 860	3, 399	7, 527
	道 支 出 金	6, 454	1, 699	3, 764
	地 方 債	0	0	0
	そ の 他 特 定	5, 645	4, 877	3, 695
	一 般 財 源	3, 489	19, 858	19, 700

【今後の方向性】					
成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	保護者が仕事と子育ての両立ができる保育サービスを提供する指標設定のため。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	必要不可欠な事業で構成されている。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	町内に担える団体等がない。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	へき地保育所運営事業	障がい児対応や支援を必要とする児に対しては、補助保育士を雇用して対応する。
	へき地保育所管理事業	老朽化した遊具の点検結果により修繕を図り、安心安全な環境で保育を実施する。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	老朽化した遊具の点検結果により修繕を図り、併せて砂場の屋根の更新も行い、安心安全な環境で保育を実施する。 障がい児対応や支援を必要とする児に対しては、補助保育士を雇用して対応する。
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	児童の安心安全な保育環境が図られる。 保護者の保育ニーズ合った保育環境が提供できる。
	改善の阻害要因	コストがかかる。
	住民への影響及びフォロー	保護者が仕事と子育ての両立ができる児童福祉の充実が図られる。

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	民生部 児童支援グループ	内線
	児童支援主幹 武田孝司	260

27

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		06010401		担当グループ名	経済部 農政グループ 農務担当
基本事業名		農業振興事業			
総合計画の位置づけ	基本目標	01 元気で働き、豊かなまちに			
	施策(大区分)	02 活力ある産業を振興する			
	施策(中区分)	01 農業			
	施策(小区分)	01 生産基盤の保全・整備			
事業の概要		農業経営、農業振興事業を円滑に進めるため、農業者や関係団体への支援により地域農業の推進を図る。			
対 象		農業経営者、農地所有適格法人、美幌町農業実態調査委員会、美幌町農業機械化協議会、豊栄地区営農用水施設			
目 的		農業経営の安定化・効率化により作物の生産性向上を支援する。			

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
農作業事故死亡件数ゼロ件	年間の死亡事故発生件数	件	0		0	0
受益農家の維持	当年の給水戸数	戸	28		28	28
甜菜作付面積の維持	平成25年甜菜作付面積の9割	ha	241		243	227
交付対象者の申請件数率	交付対象者／申請件数	件	100		100	100

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝 番 号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重 点 化
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1		農業推進事務	農作業事故死亡件数ゼロ件(件)			目標達成された。	妥 当	普 通	検 討	維 持	維 持	
			0	0								
			25,460	2,817	1,394							
2	★	てん菜育苗センター助成事業	甜菜の作付面積(ha)			目標達成され前年を上回った。	妥 当	普 通	高 い	縮 小	維 持	
			241	244								
			0	2,577	2,182							
3		経営所得安定対策推進事業	当年の交付申請率(100%)(件)			目標達成出来た。(交付対象者343名)	妥 当	高 い	高 い	維 持	維 持	
			100	100								
			2,004	4,090	2,167							
4	★	農業情報提供事業	気象情報の閲覧回数(回)			目標達成出来なかったが、平成27年度は 春先の作付時期や秋の収穫時期において 天候が安定していたことから少なかった。	妥 当	普 通	高 い	維 持	維 持	
			276,204	250,794								
			0	4,354	4,622							
5	★	豊栄地区営農用水維持管理事業	受益戸数の維持(28戸)(戸)			目標達成出来た。	妥 当	普 通	検 討	縮 小	維 持	
			28	28								
			0	1,598	2,517							

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		27,464	15,436	12,882
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	2,049	4,225	2,215
	地方債	0	0	0
	その他特定	2,232	2,153	2,312
	一般財源	23,183	9,058	8,355

【今後の方向性】

↑

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
				コスト投入の方向性	

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	農業生産の振興を重視した目標であり適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	農業生産の振興に必要な事業で構成されており妥当だ。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	農業関係団体、生産者に対する助成事業が主な事業内容であり妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	農業情報提供事業	観測機器は設置から15年以上経過している事から、安定的に気象情報を提供するためには、観測機器の更新が必要となる。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	気象観測機器は設置から15年以上経過していることから、気象観測機器の更新が必要となる。
改善状況	改善効果	安定して気象情報を提供出来る。
	改善の阻害要因	更新に伴う経費負担。
	住民への影響及びフォロー	安定して気象情報の提供が受けられる。

基本事業執行責任者 (担 当 主 幹 名)	経済部 農政グループ	内線
	農政主幹 渡邊 靖行	240

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		06010402	担当グループ名		経済部 農政グループ 農務担当
基本事業名		新規就農者等支援事業			
総合計画の 位置づけ	基本目標	01 元気で働き、豊かなまちに			
	施策(大区分)	02 活力ある産業を振興する			
	施策(中区分)	01 農業			
	施策(小区分)	02 担い手の育成確保と生産性の向上			

事業の概要	農業後継者不足が深刻し、後継者確保が急務の課題となっている中、経営継承する農家子弟及び農外からの新規参入者へ就農支援を行うことにより、本町農業の持続的な発展を図る。
-------	--

対 象	新規就農者、新規農業従事者
目 的	新規就農者や新規農業従事者の定着を促進するため、初期投資費用を軽減することで経営安定を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
新規就農者及び新規農業従事者数	年間の新規就農者及び新規農業従事者数	人	3		4	4

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		4,778	4,913	10,197
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	2,250	0	1,500
	地方債	0	0	0
	その他特定	1,000	2,118	4,088
	一般財源	1,528	2,795	4,609

【今後の方向性】

成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮 小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
コスト投入の方向性		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	農業の持続的発展には、担い手の育成・確保が重要であり適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	担い手の育成・確保に必要な事業で構成されており妥当である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	実施主体は妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規就農者等支援事業	妥当である。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	経済部 農政グループ	内線
	農政主幹 渡邊 靖行	240

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		06010403		担当グループ名		経済部 農政グループ 農務担当	
基本事業名		経営体質強化対策事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	01 元気で働き、豊かなまちに					
	施策(大区分)	02 活力ある産業を振興する					
	施策(中区分)	01 農業					
	施策(小区分)	01 生産基盤の保全・整備					
事業の概要		農業経営改善計画達成を図るための資金（スーパーL資金）借入や、経営継承時における負債の長期一括借換に係る利子の一部を助成することにより、農業経営の安定と新たな経営づくりを支援する。					
対 象		農業経営者					
目 的		農業用施設整備等のために、資金借入に伴う利子の一部を助成し経営の安定化を図る。					

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
農業経営基盤強化資金繰上償還件数	年間の繰上償還件数	件	10		12	10

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		3,955	3,330	2,667
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	1,998	1,671	1,333
	地方債	0	0	0
	その他特定	0	0	0
	一般財源	1,957	1,659	1,334

【今後の方向性】

成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の観点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	早期に償還し経営の安定を図る指標であり適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	農業経営の体質強化に必要な事業であり妥当である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	国の政策に基づく事業であり妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	経営体質強化対策事業	妥当である。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	経済部 農政グループ 農政主幹 渡邊 靖行	内線 240
----------------------	--------------------------	-----------

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		06010701	担当グループ名		経済部 農政グループ 農務担当
基本事業名		みどりの村維持管理事業			
総合計画の 位置づけ	基 本 目 標	01 元気で働き、豊かなまちに			
	施策(大区分)	02 活力ある産業を振興する			
	施策(中区分)	05 観光			
	施策(小区分)	02 既存施設や観光資源の保全、有効			

事業の概要	美幌みどりの村は、自然環境を活用しながら地域住民や都市生活者に体験学習や野外活動の普及を図り、地域住民の余暇の活用と保健休養による健康増進並びに、福祉・文化の向上を図る目的で建設された施設の管理運営を、みどりの村振興公社が指定管理者として行う。
-------	--

対 象	町民及び都市生活者等
目 的	自然環境を活用し地域住民や都市生活者に体験学習や野外活動の普及推進を図り、都市と農村の交流を深める。

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
みどりの村利用者数	年間のみどりの村利用者数	人	26,281		23,701	25,500
グリーンビレッジの利用者数	年間のグリーンビレッジの利用者数	人	7,198		6,493	6,500

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		83,572	31,165	36,353
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	560	918	0
	一般財源	83,012	30,247	36,353

【今後の方向性】

成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	利用者数を指標としており適切である。(H25年度の利用者数25,669人)
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	事業構成は妥当であるが、さらに利用促進を図る必要がある。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	指定管理者制度で運営しており妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	みどりの村管理運営事業	平成27年9月より開催されている「みどりの村あり方検討委員会」の提言に基づく各種事業や施設整備を実施。
	グリーンビレッジ管理運営	平成27年9月より開催されている「みどりの村あり方検討委員会」の提言に基づく各種事業や施設整備を行う。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	グリーンビレッジを中心とした、みどりの村あり方検討委員会の開催。 運営母体で有る、みどりの村振興公社職員の資質の向上。
	1年以内に実施可能な改善提案	みどりの村あり方検討委員会の提言に基づく各事業企画の見直し。
	2～3年以内に実施可能な改善提案	利用者ニーズに基づいた施設や設備の計画的な修繕、改修の実施。
改善状況	改善効果	事業企画及び施設や設備の見直しを行うことで、より効果的に成果を上げることが出来る。
	改善の阻害要因	施設や設備の修繕、改修にかかる費用負担。
	住民への影響及びフォロー	住民及び利用者ニーズを十分に把握した上で、見直しを行う必要がある。

基本事業執行責任者 (担 当 主 幹 名)	経済部 農政グループ	内線
	経済部長 矢萩 浩	204

27

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード	06010503	担当グループ名	経済部 農政グループ 畜産担当
基本事業名	牧野管理運営事業		
総合計画の位置づけ	基本目標	01 元気で働き、豊かなまちに	
	施策(大区分)	02 活力ある産業を振興する	
	施策(中区分)	01 農業	
	施策(小区分)	04 産業の振興	
事業の概要	国営草地開発事業により造成した美幌峠牧場を、公共牧場の機能を活かしながら、民間企業による預託牛の受入を行い本町の畜産振興を図る。		

対 象	畜産農家
目 的	公共牧場の機能を活かしながら、民間企業による預託牛の受入を行い本町の畜産振興を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
預託頭数	年間預託頭数	頭	20,994		29,036	21,000

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝 番 号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重 点 化
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥 当 性	有 効 性	効 率 性	事業の方向性		
			決算額	決算額	予算額					コスト	成果	
1	★	美幌峠牧場管理運営事業	預託頭数(頭)			目標達成出来た。 公共牧場としての今後の運営について検討する必要がある。	妥 当	普 通	検 討	縮 小	維 持	
			20,994	29,036								
			8,020	8,237	10,160							

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		8,020	8,237	10,160
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	2,802	3,857	4,884
	一般財源	5,218	4,380	5,276

【今後の方向性】

成果の方向性

拡大

維持

縮小

休廃止

×

×

×

廃止

×

×

×

×

協働化

効率性向上

縮小

皆減

生産性向上

現状維持

×

×

拡大基調

×

×

×

コスト投入の方向性

縮小

維持

拡大

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	牧場運営のための指標であり適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	必要な事業により構成されており妥当である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	検討の余地がある	理由等	実施主体は適切であるが、今後、公共牧場としての運営方法や貸付方法については検討を要する。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	公共牧場の機能を活かした民間企業による牧場運営について検討する。
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	経済部 農政グループ 農政主幹 渡邊 靖行	内線 240
----------------------	--------------------------	-----------

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		06010504		担当グループ名		経済部 農政グループ 畜産担当	
基本事業名		家畜排せつ物処理等対策事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	01 元気で働き、豊かなまちに					
	施策(大区分)	02 活力ある産業を振興する					
	施策(中区分)	01 農業					
	施策(小区分)	04 産業の振興					
事業の概要		家畜排せつ物の適正な管理を図り、有効利用し耕畜連携を推進することで地域と調和した畜産経営の確立を図る。					
対 象		畜産農家					
目 的		家畜排せつ物の汚染防止と適正な管理を図る。					

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
堆肥舎の整備率	堆肥舎整備農家／管理基準適用農家数	%	100		100	100

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		2,786	1,688	1,659
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	0	0	0
	一般財源	2,786	1,688	1,659

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
コスト投入の方向性	皆減		縮小	維持	拡大
	コスト投入の方向性				

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	事業の目的で有る家畜排せつ物の汚染防止と適正管理に必要な堆肥舎の整備率であり適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	必要な事業で構成されており妥当である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	国の制度に即した事業であり妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	経済部 農政グループ 農政主幹 渡邊 靖行	内線 243
----------------------	--------------------------	-----------

27

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		06010406		担当グループ名	経済部 農政グループ みらい農業センター担
基本事業名		みらい農業センター管理運営事業			
総合計画の位置づけ	基本目標	01 元気で働き、豊かなまちに			
	施策(大区分)	02 活力ある産業を振興する			
	施策(中区分)	01 農業			
	施策(小区分)	03 新たな農業の展開			

事業の概要	本町の基幹産業である農業の更なる発展と新たな展開を推し進めるには、新規就農者（新規参入者）や新規農業従事者（農業後継者）の人材育成と、独自性があり高い収益性が期待できる新規作物を積極的に地域へ導入する必要があることから、町の農業を活用した新規就農者や新規農業従事者の育成と新規作物の調査・研修を行う。また、担い手対策として女性農
-------	--

対 象	新規就農者（新規参入者）や新規農業従事者（農業後継者）
目 的	今後の農業情勢の変化にも対応しうる強固な農業経営体の育成、女性実習生の受入による担い手対策を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
体験実習生の受入人数	年間の受入人数	人	7		4	4
試験展示圃場における栽培試験数	年間の栽培試験件数	件	13		16	13

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝 番 号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)	事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重 点 化	
		H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥 当 性	有 効 性	効 率 性	コスト	成果		
		決算額	決算額	予算額								
1	★	みらい農業センター農家青年配偶 者対策事業	体験実習生の受入数(人)			目標達成出来たが、長期間の研修生が少 なかった。施設が老朽化しており、改修 等の検討が必要。	妥 当	高 い	高 い	拡大	維持	
			4	4								
			2,871	2,922	7,057							
2	★	みらい農業センター農業振興事業	試験展示圃における栽培試験数(件)			目標達成できた。	妥 当	高 い	高 い	縮小	維持	
			15	14								
			23,960	23,755	10,951							

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		26,831	26,677	18,008
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	12,735	9,629	9,049
	一般財源	14,096	17,048	8,959

【今後の方向性】

↑

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
					コスト投入の方向性

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	基本事業の目標を達成するための指標であり適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	基本事業の目標達成に向けた事業であり妥当である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	町の施設を活用した栽培実証試験や担い手育成研修及び、農業担い手実習生の受入など、関係団体の費用負担や、関係機関・団体との連携により実施しており妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	女性実習生の受入のための情報発信を行う。
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担 当 主 幹 名)	経済部 農政グループ	内線
	農政主幹 渡邊 靖行	240

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		06010601		担当グループ名		経済部 耕地林務グループ 事業担当	
基本事業名		国営土地改良事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	01 元気で働き、豊かなまちに					
	施策(大区分)	02 活力ある産業を振興する					
	施策(中区分)	01 農業					
	施策(小区分)	01 生産基盤の保全・整備					
事業の概要		国営土地改良事業により、畑地へのかんがい施設の導入及び、排水施設の整備を行い、農産物の輸入自由化に対応できる基盤整備及び生産性の向上で安定した農業経営を目指す。					
対 象		各地区の農業者及び各地区内に農地を所有する農業者					
目 的		畑地かんがい排水の整備改修					

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
国営美女地区工事実施率	総事業費 8,570,000千円/実施事業費	%	56		72	81

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		635	643	29,500
財源内訳	国庫補助金	300	296	54
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	21,500
	その他特定	0	0	0
	一般財源	335	347	7,946

【今後の方向性】

成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の観点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	施設の老朽化と、近年の降雨の状況から計画的な整備が必要である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	事業を遂行するうえで、必要不可欠である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	国営事業の観点から適切である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	経済部 耕地林務グループ 耕地林務主幹 伊成博次	内線 245
----------------------	-----------------------------	-----------

27

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		06010603	担当グループ名	経済部 耕地林務グループ 事業担当
基本事業名		団体営土地改良事業		
総合計画の位置づけ	基本目標	01 元気で働き、豊かなまちに		
	施策(大区分)	02 活力ある産業を振興する		
	施策(中区分)	01 農業		
	施策(小区分)	01 生産基盤の保全・整備		
事業の概要		農業用施設の適正管理及び団体営土地改良事業の推進を図る。		
対 象		町内の農業者及び町内に農地を所有する農業者		
目 的		土地改良事業の推進並びに既存施設の適切な維持管理		

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
基幹水利施設管理補修事業償還の実行率	総償還額133, 837, 942円に対する償還率	%	75		80	85
基幹水利施設維持管理数	基幹水利施設の維持管理施設箇所数	施設	2		2	2
受益面積	多面的機能発揮の促進を図る受益面積	ha	1, 826		3, 229	7, 756

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重点化
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1	★	団体営土地改良事業推進事業	基幹水利施設管理補修事業償還比率(%)			目標を達成した	妥当	高い	検討	維持	維持	○
			75	80								
			16,195	9,850	6,639							
2	★	国営造成施設管理体制整備促進事業	管理組織数(組織)			目標を達成した	妥当	高い	高い	維持	維持	
			1	1								
			3,126	4,440	3,244							
3	★	基幹水利施設管理事業	基幹水利施設維持管理数(箇所)			目標を達成した	妥当	高い	高い	維持	拡充	○
			2	2								
			8,412	8,501	12,807							
4	★	多面的機能支払事業	受益面積(ha)			目標を達成した	妥当	高い	高い	拡大	拡充	◎
			1,826	3,229								
			0	28,541	111,790							
5												

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		27, 733	51, 332	134, 480
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	4, 154	26, 802	89, 083
	地方債	0	0	0
	その他特定	3, 046	3, 046	3, 047
	一般財源	20, 533	21, 484	42, 350

【今後の方向性】

↑

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
			コスト投入の方向性		

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の観点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	農業用施設の管理であり、農業所得の増加を図るための設定であるため、適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	事業の遂行を行うため、必要不可欠である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	検討の余地がある	理由等	将来を見据えた管理体制の検討が必要である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	基幹水利施設管理事業	組織再編成を行い、法人組織を設立し維持管理を委託する。
	多面的機能支払事業	新規地区の指導を強化するとともに、説明会を行った。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	多面的機能支払事業は、現在6地区で実施しているが、今後美幌町1地区として統合し維持管理を行うことにより、維持管理効果が見込まれる。
改善状況	改善効果	事務的費用を削減するとともに、町内全域が統一した維持管理が図られる。
	改善の阻害要因	現在既存地区の実施期間がH24～H28の5ヵ年間となっているため、H29年には統合する。
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	経済部 耕地林務グループ 耕地林務主幹 伊成博次	内線 245
----------------------	-----------------------------	-----------

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		06020101	担当グループ名		経済部 耕地林務グループ 森林担当
基本事業名		有害鳥獣対策事業			
総合計画の 位置づけ	基本目標	01 元気で働き、豊かなまちに			
	施策(大区分)	02 活力ある産業を振興する			
	施策(中区分)	01 農業			
	施策(小区分)	01 生産基盤の保全・整備			

事業の概要	野生鳥獣の保護管理及び有害鳥獣の駆除及び駆除の適確な指導を行う。 （有害鳥獣駆除捕獲許可事務・有害鳥獣・捕獲業務・有害鳥獣駆除に関する奨励） 森林被害防止のため、野鼠駆除（へり散布）を行う。
-------	--

対 象	有害鳥獣被害を受けている町民及び森林を保有している森林所有者
目 的	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づき、野生鳥獣の保護管理や、有害鳥獣の駆除及び駆除の適確な

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
有害鳥獣許可による捕獲数	年間の捕獲数	羽・頭	607		1,281	1,400
へり散布実施面積	野鼠被害防止のための薬剤へり散布面積	ha	186		224	202

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		738	1,065	1,178
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	0	0	0
	一般財源	738	1,065	1,178

【今後の方向性】

成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	農林業被害及び人的被害を未然に防止するため適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	農林業被害及び人的被害を未然に防止するため、必要不可欠である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	北海道猟友会美幌支部が実施するものであり、適切である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	有害鳥獣対策事業	市街地内での銃器使用が禁止しているため、市街地外周辺及び登米終末処理場内、一斉駆除を年数回実施した。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	猟友会会員の高齢化及び会員減少のため、狩猟（わな・銃器）の免許取得を推奨していく。
改善状況	改善効果	人的被害防止が、敏速に行われる。
	改善の阻害要因	免許取得及び銃器購入が高価なため。
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	経済部 耕地林務グループ 耕地林務主幹 伊成博次	内線 245
----------------------	-----------------------------	-----------

基本事業コード	06020102	担当グループ名	経済部 耕地林務グループ 森林担当
基本事業名	林業推進事業		
総合計画の位置づけ	基本目標	01 元気で働き、豊かなまちに	
	施策(大区分)	02 活力ある産業を振興する	
	施策(中区分)	02 林業	
	施策(小区分)	02 付加価値の向上	
事業の概要	FSC森林認証を核として、認証材の利用促進及び森林の二酸化炭素吸収機能の活用等により、本町林業の活性化を図る。		
対象	FSC認証材・ペレットストーブ・町内森林・エコハウス・林業館「きてらす」		
目的	普及促進等による林業全般の活性化を図る。		

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
FSC認証材使用量	年間のFSC認証材の使用量	m3	268		327	550
エコハウス見学・宿泊者数	年間のエコハウス見学・宿泊者数	人	1,058		780	1,000
林業館「きてらす」入館者数	年間の林業館「きてらす」入館者数	人	818		20,437	30,000
FSC森林認証エリア面積	FSC森林認証エリア面積	ha	3,855		4,029	4,458

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事務事業名 (★＝実施計画事業)		事務事業指標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重点化
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1		林業推進事務	植樹祭等の回数(回)			目標を達成した	妥当	普通	高い	維持	維持	
			8	7								
			24,334	8,802	1,638							
2	★	町産材活用促進事業	FSC認証材使用量(m3)			目標を達成することができなかった	妥当	普通	高い	拡大	維持	◎
			268	327								
			10,440	12,840	23,756							
3	★	木質ペレットストーブ購入促進事業	町内木質ペレットストーブ設置累計台数(%)			目標を達成することができなかった	妥当	高い	高い	維持	維持	◎
			51	58								
			1,992	2,187	4,044							
4		エコハウス維持管理事業	エコハウス見学・宿泊者数(人)			目標を達成した	妥当	普通	高い	維持	維持	
			1,058	780								
			3,723	3,823	3,896							
5	★	林業館管理事業	入館者数(人)			目標を達成した	妥当	高い	高い	維持	拡充	◎
			818	20,437								
			1,533	1,672	7,143							
6	★	森林づくり推進事業	FSC森林認証林の面積(ha)			目標を達成した	妥当	高い	高い	維持	拡充	◎
			3,855	4,029								
			0	0	0							

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		42,022	29,324	40,477
財源内訳	国庫補助金	11,809	6,425	9,905
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	2,100	4,000
	その他特定	7,971	8,322	1,170
	一般財源	22,242	12,477	25,402

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
	皆減		縮小	維持	拡大
	コスト投入の方向性				

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	FSC森林認証制度を活用し、森林・林業の活性化を図るため適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	森林・林業政策を推進するうえで、必要不可欠である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	森林認証基準に基づいたものであり、妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	木質ペレットストーブ購入	ペレットストーブの台数を確保（新エネで100台）することにより、ペレット販売店との価格交渉を行う。
	林業館管理事業	1階店舗との間仕切り設置及び安全面を考慮しクロスの張替・授乳室の天井・遊具関係の修繕を実施しました。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	経済部 耕地林務グループ 耕地林務主幹 伊成博次	内線 245
----------------------	-----------------------------	-----------

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		06020202	担当グループ名	経済部 耕地林務グループ 森林担当
基本事業名		民有林振興対策事業		
総合計画の 位置づけ	基本目標	01 元気で働き、豊かなまちに		
	施策(大区分)	02 活力ある産業を振興する	:	
	施策(中区分)	02 林業		
	施策(小区分)	01 森林の整備		

事業の概要	民有林の振興と地域林業の活性化及び林業労働者の労働条件の改善を図る。
-------	------------------------------------

対 象	森林所有者・林業従事者・森林組合
目 的	民有林の一層の振興を図り、森林資源の循環利用の推進を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
民有林の植栽面積	年間の民有林植栽面積	ha	206.76		207.79	200
FSC認証材の取扱生産量	FSC認証の年間取扱生産量	m3	3,756		5,372	5,855
森林整備担い手就業者数	森林整備担い手就業者数	人	55		51	51

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		103,575	41,044	37,204
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	58,164	22,512	20,160
	地方債	0	0	0
	その他特定	0	0	0
	一般財源	45,411	18,532	17,044

【今後の方向性】

成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	林業振興を目的として、適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	林業政策の推進するうえで、必要不可欠である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	補助要領等に基づき、妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	民有林振興事業	高性能林業機械の開発及び雇用条件の見直し。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	経済部 耕地林務グループ 耕地林務主幹 伊成博次	内線 245
----------------------	-----------------------------	-----------

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		07010101	担当グループ名		経済部 商工観光グループ 商工労政担当
基本事業名		商工業推進事務			
総合計画の 位置づけ	基本目標	01 元気で働き、豊かなまちに			
	施策(大区分)	02 活力ある産業を振興する			
	施策(中区分)	03 工業			
	施策(小区分)	02 企業誘致の推進			

事業の概要	町外からの企業誘致を進め、雇用の場の確保、町内経済の活性化を図る。
-------	-----------------------------------

対 象	町外企業
目 的	企業誘致による雇用の創出、地域産業の振興

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
工業用地等への新規立地企業数	新規立地企業数	件	0		0	1

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		0	12	45
財源内訳	国庫補助金			0
	道支出金			0
	地方債			0
	その他特定			0
	一般財源	0	12	45

【今後の方向性】					
成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	雇用の場の確保を図るためには必要な事業であるため。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	検討の余地がある	理由等	取組が不十分である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	検討の余地がある	理由等	企業立地促進法に基づく協議会に取組を委ねているが、本町独自の取組が必要であるため。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	商工業推進事務	本町の利点（交通アクセス、災害の少なさ等）のPRを強化する。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	本町の利点（交通アクセス、災害の少なさ等）のPRを強化する。
	1年以内に実施可能な改善提案	企業誘致に関するフェア等への参加
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	企業誘致に関するフェア等への参加により、本町の利点をPRできる。
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	経済部 商工観光グループ	内線
	商工主幹 後藤秀人	255

27

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		07010202		担当グループ名		経済部 商工観光グループ 商工労政担当	
基本事業名		商店街活性化促進事業					
総合計画の位置づけ	基本目標	01 元気で働き、豊かなまちに	01 元気で働き、豊かなまちに				
	施策(大区分)	02 活力ある産業を振興する	02 活力ある産業を振興する				
	施策(中区分)	04 商業	06 産業創造				
	施策(小区分)	02 商店街の魅力向上	03 雇用、労働対策の推進				
事業の概要		大型店の郊外進出、後継者附則、町外への消費流出等で形骸化、空洞化が進む中心市街地や各商店街の活性化を図るため、各商店街が実施しているイベント事業への支援、購買客の町内消費を促進する消費拡大事業への支援、中心市街地への出店を奨励する空き店舗活用事業等を行い、賑わいのある魅力あふれる商業市街地を形成し経済の活性化を図る。					
対 象		商店街（会）・事業主					
目 的		消費の拡大、経済活性化					

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
プレミアム商品券利用率	プレミアム商品券利用率	%	99.1		99.51	99
店舗リフォーム件数	年間の店舗リフォーム件数	件			31	20

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重点化
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1	★	商店街活性化事業	宅配便利サービス利用件数(件)			宅配便利サービスの利用件数が伸び悩んでいる。	妥当	普通	検討	維持	維持	
			865	956								
			13,379	5,836	3,290							
2	★	起業家支援事業	起業件数(件)			制度創設の今年度は6件の起業となったが、以降件数の減少が見込まれる。	妥当	高い	高い	維持	維持	
			0	6								
				11,820	6,000							
3	★	プレミアム商品券発行事業	商品券利用率(%)			事業開始から3年が経過し当該事業が浸透してきており、多くの町民が商品券を求めにきている原状にあります。(年々	妥当	高い	高い	縮小	維持	
			99	100								
			0	24,902	6,150							
4	★	子育て世帯等応援事業	商品券利用率(%)			事業開始から3年が経過し当該事業が浸透してきており、多くの町民が商品券を求めにきている原状にあります。	妥当	高い	高い	縮小	維持	
			99	99								
			0	7,889	2,250							
5	★	店舗リフォーム促進支援事業	店舗リフォーム件数(件)			補助対象経費等の明確化が必要である。	妥当	高い	高い	維持	維持	
				31								
			0	20,147	20,000							

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		13,379	70,594	37,690
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	3,038	13,950	0
	地方債	6,400	20,147	34,400
	その他特定	830	1,573	0
	一般財源	3,111	34,924	3,290

【今後の方向性】

↑

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
					コスト投入の方向性

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の観点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	商店街の活性化を図る上で必要な事業のため。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	消費喚起、顧客の集客力の向上を図る上で効果的な事業構成であるため。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	民間主導であるため。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	商店街活性化事業	事業の宣伝を強化する。
	プレミアム商品券発行事業	プレミアム商品券の発行場所（日）等を商店街のイベント等に絡めることができないか検討を行う。
	子育て世帯等応援事業	プレミアム商品券の発行場所（日）等を商店街のイベント等に絡めることができないか検討を行う。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	起業家支援事業	更なる起業件数の増加を図るため、制度、事例紹介等のパンフレットを作成し、町HP、フェースブック等により制度のPRを行う。
	店舗リフォーム促進支援事業	要綱等により補助対象経費等の明確化を図る。
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	経済部 商工観光グループ	内線
	商工主幹 後藤秀人	255

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		07010301		担当グループ名		経済部 商工観光グループ 観光担当	
基本事業名		観光振興事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	01 元気で働き、豊かなまちに	01 元気で働き、豊かなまちに	02 たがいに助けあい、温かなまちに			
	施策(大区分)	02 活力ある産業を振興する	02 活力ある産業を振興する	03 みんなでまちを育てる			
	施策(中区分)	05 観光	05 観光	03 地域間交流			
	施策(小区分)	01 総合的な推進体制、ビジョンの確立	03 観光情報の提供、サービスの向上	01 国内交流の推進			

事業の概要	美幌町の地域個性を最大限に生かした観光振興施策を展開し、魅力ある観光地づくりを実施する。 ひがし北海道圏域との連携を強化し、観光客誘致の促進及び地域活性化等を図る。
-------	---

対 象	観光客、町民
目 的	美幌町及びびがし北海道圏域へ新たに訪れる方及びリピーターを増やす。

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
美幌峠における観光入込客数	年度ごとの観光入込客数	万人	76.6		80.6	81.6

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		23,371	4,611,210	12,862
財源内訳	国庫補助金	0	4,500,000	0
	道支出金	11,451	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	137	240	0
	一般財源	11,783	110,970	12,862

【今後の方向性】

成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮 小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
コスト投入の方向性		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
基本事業を構成する事務事業の見直し	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
基本事業を構成する事務事業の見直し	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	経済部 商工観光グループ 観光主幹 那須 清二	内線 295
----------------------	----------------------------	-----------

27

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		07010304	担当グループ名		経済部 商工観光グループ 観光担当
基本事業名		観光施設維持管理事業			
総合計画の 位置づけ	基本目標	01 元気で働き、豊かなまちに			
	施策(大区分)	02 活力ある産業を振興する			
	施策(中区分)	05 観光			
	施策(小区分)	02 既存施設や観光資源の保全、有効活用			
事業の概要		美幌町の観光施設の改修を行い、観光客及び町民が安心して快適に利用出来る施設としての維持管理を行う。			

対 象	観光客・町民
目 的	美幌町の観光施設の維持管理を行い、観光客や町民が快適に利用できるようにする。

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
峠の湯びほろにおける入浴者数		人	95,790		108,350	110,000
美幌峠における観光入込客数	年度ごとの観光入込客数	万人	76.6		80.6	81

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重点化
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1		峠施設管理運営事業	美幌峠における観光入込客数(万人)				妥当	普通	高い	維持	維持	
			77	81								
			8,236	9,297	8,085							
2		峠の湯びほろ管理運営事業	峠の湯びほろにおける入浴客数(人)			施設全体を有効活用し利用者の満足度を向上させる工夫を行うため、今後も指定管理者と協議したい。	妥当	普通	高い	拡大	維持	○
			95,790	108,350								
			10,840	14,951	14,481							
3		ターミナル物産センター管理運営事業	ぼっほ屋来場者数(人)				妥当	普通	高い	維持	維持	
			32,078	33,549								
			3,680	4,994	5,116							
4	★	峠の湯びほろ改修等整備事業	突発的な設備等のトラブルによる臨時休館回数(回)			日常点検のさらなる強化と効率的な年次修繕を実施することにより、臨時休館を抑制したい。	妥当	普通	高い	拡大	維持	◎
			1	1								
			15,998	11,214	18,637							

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		38,754	40,456	46,319
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	3,906	2,864	1,729
	一般財源	34,848	37,592	44,590

【今後の方向性】

↑

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
			コスト投入の方向性		

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	経済部 商工観光グループ 観光主幹 那須 清二	内線 295
----------------------	----------------------------	-----------

(主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書)

基本事業コード		08020201	担当グループ名	建設水道部 建設グループ 維持担当
基本事業名		道路橋梁維持管理事業		
総合計画の 位置づけ	基本目標	04 環境を整え、美しいまちに		
	施策(大区分)	03 快適な基盤をつくる		
	施策(中区分)	04 道路		
	施策(小区分)	02 町道の整備		

事業の概要	自動車や歩行者等の安全を確保し、住民の生活を守るための町道維持管理を行う。
-------	---------------------------------------

対 象	町道利用者
目 的	・道路、道路側溝、法面の維持管理 ・街路灯の維持管理 ・街路樹、植樹柵の維持管理

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
施設機能維の維持	点検、維持、補修の達成度	%	90		90	90

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝 番 号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重 点 化
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥 当 性	有 効 性	効 率 性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1		道路橋梁管理事業	施設機能の維持(%)				妥 当	高 い	高 い	拡大	拡充	◎
			90	90								
			136,008	229,648	119,922							
2	★	道路橋梁整備事業	町道整備本数(路線)				妥 当	高 い	高 い	拡大	拡充	○
				3								
			0	14,170	6,072							

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		136,008	243,818	125,994
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	16,200	4,500	0
	その他特定	3,132	2,798	1
	一般財源	116,676	236,520	125,993

【今後の方向性】

成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	パトロールや点検、連絡によって早期に維持補修を行うことで修繕費の抑制を図る。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	計画的に維持補修を行うため、維持補修・整備する内容の整理や優先順位を明確化する。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	建設水道部 建設グループ 施設管理主幹 中沢浩喜	内線 261
----------------------	-----------------------------	-----------

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		08020203		担当グループ名	建設水道部 建設グループ 維持担当	
基本事業名		除雪対策事業				
総合計画の 位置づけ	基本目標	04 環境を整え、美しいまちに	04 環境を整え、美しいまちに			
	施策(大区分)	02 うるおいを高める	02 うるおいを高める			
	施策(中区分)	01 環境美化、景観	01 環境美化、景観			
	施策(小区分)	01 環境美化活動の推進	02 不法投棄対策の推進			

事業の概要	除雪に対する住民要望は幅広く寄せられており、直営と委託により早期の生活道路確保を図るとともに、農村地区においては、地元の方々を構成メンバーとした「除雪部会」へ委託により、集乳路線及びバス路線を中心とした除雪を実施し、早期の走行路線の確保を図る。
-------	--

対 象	住民
目 的	冬期の降雪に対する除排雪を行うことによる住民生活の安定を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
一斉除雪	町内一円の町道、歩道除雪作業	回			7	8

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝 番 号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重 点 化
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1	★	除雪対策事業	一斉除雪(回)				妥 当	普 通	高 い	拡 大	拡 充	◎
				7								
			168,903	183,308	105,168							
2	★	除雪車両整備事業	除雪車両導入数(台)				妥 当	高 い	高 い	拡 大	拡 充	◎
			1	0								
			0	8,302	44,611							

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		168,903	191,610	149,779
財源内訳	国庫補助金	2,526	7,200	25,600
	道支出金	0	0	0
	地方債	6,200	0	14,700
	その他特定	0	0	287
	一般財源	160,177	184,410	109,192

【今後の方向性】

成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	直営と委託による迅速な除雪を実施します。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	安全で快適な交通網確保のため除雪・排雪の実施、必要な車両整備を行う。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	建設水道部 建設グループ 施設管理主幹 中沢浩喜	内線 261
----------------------	-----------------------------	-----------

(主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書)

基本事業コード		08030101	担当グループ名		建設水道部 建設グループ 維持担当
基本事業名		河川維持管理事業			
総合計画の 位置づけ	基本目標	03 きまりを守り、明るいまちに			
	施策(大区分)	02 災害に強いまちにする			
	施策(中区分)	02 国土保全(治山、河川整備)			
	施策(小区分)	02 河川の整備			
事業の概要		本町が管理している普通河川の保全のため、浚渫などによる適正な維持管理を行う。 平成24年度から年次的計画により、土砂堆積のひどい河川の浚渫を実施する。 ・浚渫の実施			
対 象		河川周辺住民			
目 的		河川の環境保全			

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
施設の点検、維持補修	河川に接続する樋管施設の点検、報告	%			96	96

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		13,175	20,032	7,375
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	630	1,306	697
	地方債	0	0	0
	その他特定	0	0	0
	一般財源	12,545	18,726	6,678

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	廃止	廃止	×	×	×
コスト投入の方向性	皆減		縮小	維持	拡大
	コスト投入の方向性				

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の観点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	樋管の管理、河川の維持補修、浚渫作業により河川の氾濫被害の軽減を図る。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	適切に必要な維持・補修作業を行うためパトロール等による状況の把握を行い、浚渫作業を計画的に実施する。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
基本事業を構成する事務事業の見直し	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
基本事業を構成する事務事業の見直し	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	建設水道部 建設グループ 施設管理主幹 中沢浩喜	内線 261
----------------------	-----------------------------	-----------

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		08040201	担当グループ名	建設水道部 建設グループ 維持担当
基本事業名		公園維持管理事業		
総合計画の 位置づけ	基本目標	04 環境を整え、美しいまちに		
	施策(大区分)	02 うるおいを高める		
	施策(中区分)	02 講演・緑地（緑化）、墓地		
	施策(小区分)	01 公園や緑地の整備、維持管理		

事業の概要	都市公園を地域の人達の憩いの場所として、安全で快適な空間を提供するため、日常的な維持管理を行う。 また、設置から相当の年数を経過して、老朽化が進んでいることから、補助事業による公園長寿命化整備計画を進める。
-------	--

対 象	公園利用者
目 的	・草刈、遊具の保守点検及び修繕 ・各運動施設の維持（草刈等） ・河川敷地の維持管理 ・トイレ清掃及び公園等の修繕

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
施設機能の維持	施設機能維持の補修達成度	%	85		85	90

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		39,430	60,972	76,567
財源内訳	国庫補助金	0	0	17,000
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	17,500
	その他特定	15	28	7
	一般財源	39,415	60,944	42,060

【今後の方向性】					
成果の 方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入の方向性					

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	遊具等施設の老朽化が激しいため点検、維持補修作業、改修を行い施設の安全を図る。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	定期的な点検や維持補修作業により必要な修繕箇所等を把握し、計画的な改修を行う。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。		
基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。		
改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	建設水道部 建設グループ 施設管理主幹 中沢浩喜	内線 261
----------------------	-----------------------------	-----------

（事後評価の成果報告書）

基本事業コード		36010201	担当グループ名	建設水道部 建設グループ 維持担当
基本事業名		終末処理場維持管理事業		
総合計画の 位置づけ	基本目標	04 環境を整え、美しいまちに		
	施策(大区分)	01 自然環境を大切にする		
	施策(中区分)	03 下水道（し尿）処理		
	施策(小区分)	01 下水道の充実		

事業の概要	終末処理場へ間断なく流入する下水を安全な処理水として放流するため、施設の点検等を実施し、非常時における処理水質の低下を最小限にとどめるため、適切な維持管理を行う。
-------	---

対 象	町民（公共下水道利用者）
目 的	下水を法令等の基準に適合する水質に処理し、水処理で発生する汚泥は、資源化に必要な性状を付与する。

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
整備率	整備計画/計画面積	%	80		80	80

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		195,868	203,814	217,163
財源内訳	国庫補助金		0	0
	道支出金		0	0
	地方債		0	0
	その他特定		0	23,303
	一般財源	195,868	203,814	193,860

【今後の方向性】					
成果の 方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入の方向性					

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	施設の老朽化に伴う維持補修作業、改修作業を計画的に行う。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	下水道使用料の徴収業務、水洗化普及促進、施設の維持業務により、適切な汚水処理を行う。
実施主体の妥当性	行政（国・道・町）・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	建設水道部 建設グループ 施設管理主幹 中沢浩喜	内線 261
----------------------	-----------------------------	-----------

27

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード	36010202	担当グループ名	建設水道部 建設グループ 維持担当
基本事業名	公共下水道管渠維持管理事業		
総合計画の位置づけ	基本目標	04 環境を整え、美しいまちに	
	施策(大区分)	01 自然環境を大切にする	
	施策(中区分)	03 下水道(し尿)処理	
	施策(小区分)	01 下水道の充実	
事業の概要	昭和48年に着手した公共下水道事業は、管渠施設の不具合が多くなっているため、速やかに市街地の汚水を収集し、処理場から公共用水域に放流するという管渠施設の機能を発揮できるよう適切かつ計画的な維持管理を行う。		
対象	町民(公共下水道利用者)		
目的	管渠施設の機能をより効果的に発揮されるよう保持する。		

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
整備率	整備計画/計画面積	%	80		80	80

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事務事業名 (★＝実施計画事業)		事務事業指標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重点化
			H26年度実績値 決算額	H27年度実績値 決算額	H28年度 予算額		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
1	★	公共下水道管渠維持管理事業	整備率(%) 80 10,760	80 15,607	16,184		妥当	高い	検討	拡大	拡充	◎

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		10,760	15,607	16,184
財源内訳	国庫補助金			0
	道支出金			0
	地方債			0
	その他特定			0
	一般財源	10,760	15,607	16,184

【今後の方向性】

↑

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
					コスト投入の方向性

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	不具合が多くなっている管渠施設の維持管理補修作業を計画的に行う。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	巡視や点検(地上からの目視)を行い必要に応じて調査を実施し、計画的に修繕を実施する。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	建設水道部 建設グループ 施設管理主幹 中沢浩喜	内線 261
----------------------	-----------------------------	-----------

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		36010301	担当グループ名	建設水道部 建設グループ 維持担当
基本事業名		公共下水道建設事業		
総合計画の 位置づけ	基本目標	04 環境を整え、美しいまちに		
	施策(大区分)	01 自然環境を大切にする		
	施策(中区分)	03 下水道（し尿）処理		
	施策(小区分)	01 下水道の充実		

事業の概要	昭和48年に下水道事業を着手してから、平成26年度末で96.2%の水洗化率となっている。また、市街地周辺の集落等の環境整備を図るため、平成8年度から特定環境保全公共下水道事業に着手し、ほぼ整備を終えている。今後も更なる普及率の向上を図るため、汚水樹設置を実施する。
-------	--

対 象	町民（公共下水道利用者）
目 的	公共下水道は市町村が行うもので、下水を排除し又は処理するため事業を計画的に遂行する。

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
長寿命化計画、実施計画に基づく下水道	年次事業費/現在、長寿命化計画で承認	%	12		51	87

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		134,249	211,399	328,145
財源内訳	国庫補助金		0	175,816
	道支出金		0	0
	地方債		0	130,300
	その他特定		0	22,029
	一般財源	134,249	211,399	0

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	下水道普及率の向上を図るため、汚水柵を設置する。また、下水道管渠は布設後40年が経過しており、効果的な更新を計画的行うため管渠長寿命化計画を策定する。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	コスト縮減のため、交付金事業等を活用して計画的に事業を実施する。
実施主体の妥当性	行政（国・道・町）・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 （担当主幹名）	建設水道部 建設グループ 施設管理主幹 中沢浩喜	内線 261
----------------------	-----------------------------	-----------

基本事業コード	56010101	担当グループ名	建設水道部 水道G
基本事業名	水道事業		
総合計画の位置づけ	政策	4 環境を整え、美しいまちに	
	施策の大綱	3 快適な基盤をつくる	
	施策の方向	3 水資源、水道	
	施策	2 水道の整備	
事業の概要	快適な生活や都市活動を営む上で欠くことのできない重要なライフライン施設であり、安全で安心できる水の持続的な供給を確保するため、水道の信頼を維持し将来に渡り良いサービスを提供する。		
対象	給水区域内住民、水道関連施設		
目的	安定的な施設の運転と安全で安心できる水の供給		

基本事業指標	指標の算式	設定理由	単位	26実績値	27目標値	27実績値	28目標値
総収支比率	総収益／総費用	100%を下回ると純損失が生じる。今後10年間の収支計画をもとに作成した。給水人口1.5万人～3万人の道内事業体の平均は82.8%(平成24年度)である。現在の高い数値を維持する設置量を目標とする。	%	101.6	109.6	112.4	110.0
有収率	年間有収水量／年間配水量		%	92.2	93.1	90.8	93.3
無掘削型筐設置率	無掘削型収納筐個数／量水器筐総数		%	30.7	45.0	44.4	58.0
計画に基づく実施率		安定的な水の供給を行うため。	%	100	100	100	100

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事 務 事 業 名 (★＝投資的経費)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			28年度以降の 事業の方向性		重点化
			26年度実績値	27年度実績値	28年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
01		水道事業(収益)	総収支比率(%)			会計制度改正により増加した費用が減となり、収支比率は対前年比10.8%上回った。 有収率は対前年比1.4%下回った。不明水対策として漏水調査を実施するとともに、有収率は対前年比1.4%下回った。不明水解消のため計画的な老朽管更新を進め	妥当	普通	高い	維持	維持	◎
			101.6	109.6	441,034							
			504,378	470,720								
02		水道事業(資本)	有収率(%)			有収率は対前年比1.4%下回った。不明水対策として漏水調査を実施するとともに、有収率は対前年比1.4%下回った。不明水解消のため計画的な老朽管更新を進め	妥当	普通	高い	維持	維持	○
			92.2	93.1	338,791							
			279,360	352,413								
03	★	水道管路整備事業	有収率(%)			有収率は対前年比1.4%下回った。不明水解消のため計画的な老朽管更新を進め	妥当	普通	高い	拡大	維持	
			92.2	93.1	61,100							
			61,776	88,700								
04	★	量水器収納筐設置事業	無掘削型筐設置率(%)			計画どおり完了	妥当	普通	高い	拡大	維持	
			30.7	45.0	81,234							
			55,513	84,012								
05	★	水道施設整備事業	計画に基づく実施率(%)			計画どおり完了	妥当	普通	高い	拡大	維持	
			100	100	28,600							
			14,395	24,900								
06			()									
07			()									
08			()									
09			()									
10			()									

事業費の合計(円)		26年度決算額	27年度決算額	28年度予算額
		915,422,000	1,020,745,000	950,759,000
財源内訳	国庫補助金			
	道支出金			
	地方債	128,600,000	171,100,000	166,000,000
	その他特定			
一般財源		786,822,000	849,645,000	784,759,000

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の妥当性	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	経営指標は営業収支比率、管理指標は有収率としている
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	水道事業の安定的な運営及び管理を行うために、計画的な施設更新・整備が必要である
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	水道事業は、水道法に基づき経営しており第6条第2項に原則市町村が経営するものと規定されている



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案(継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止)を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	水道施設耐震化事業	水道施設耐震診断結果を基に耐震化計画を策定し、水道施設の耐震化を進め安定給水の継続に努める。
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	建設水道部 水道G 御田順司	内線 280
----------------------	-------------------	-----------

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		10010302		担当グループ名		教育委員会 学校教育グループ 学校教育担当	
基本事業名		学校教育振興事業					
総合計画の 位置づけ	基本目標	05	文化を高め、しあわせなまちに				
	施策(大区分)	01	生涯学習で生きがいを持つ				
	施策(中区分)	03	スポーツ				
	施策(小区分)	02	スポーツ施設の整備、活用				
事業の概要		生きる力を育むための基礎学力の向上、基礎体力の向上、体験学習の充実を図るため、各種事業を推進する。					
対 象		小中学校、児童生徒、教職員					
目 的		学校教育環境の向上、教育内容の充実、教職員の指導力向上を図る。					

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
学校教育振興推進事業	指導主事の配置	名	1		1	

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝 番 号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重 点 化
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥 当 性	有 効 性	効 率 性	コス ト	成 果	
			決算額	決算額	予算額							
1	★	学校教育振興推進事業	指導主事の配置(名)				妥 当	高 い	高 い	縮 小	維 持	◎
			1	1								
			20,218	26,994	15,646							
2	★	少人数学級推進事業	町費負担教員(臨時教員)の配置(名)				妥 当	高 い	高 い	維 持	維 持	◎
			2	2								
			0	9,414	15,268							
3	★	教職員研修事業	研修参加数(名)				妥 当	高 い	高 い	維 持	維 持	◎
			13	18								
			0	1,084	1,305							

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		20,218	37,492	32,219
財源内訳	国庫補助金		0	0
	道支出金		0	0
	地方債		9,200	15,200
	その他特定		0	0
	一般財源	20,218	28,292	17,019

【今後の方向性】

成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の観点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	学校教育環境の向上、教育内容の更なる充実には、教職員の指導力向上は不可欠であり、指標・目標値は適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	構成された事務事業は、基本事業指標を達成するため妥当と考える。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	教職員の指導力向上を図るためには、町が実施主体となり進めることが妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
基本事業を構成する事務事業の見直し	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
基本事業を構成する事務事業の見直し	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担 当 主 幹 名)	教育委員会 学校教育グループ	内線
	学校教育主幹 田村圭一	302

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		10020202	担当グループ名	教育委員会 学校教育グループ 学校教育担当
基本事業名		小学校教育振興事業		
総合計画の 位置づけ	基本目標	05 文化を高め、しあわせなまちに		
	施策(大区分)	01 生涯学習で生きがいを持つ		
	施策(中区分)	02 文化、芸術		
	施策(小区分)	03 文化財や郷土資料の収集、保存		

事業の概要	吹奏楽等の大会参加に要する経費を負担する。 経済的な理由で就学が困難な児童の保護者に対し、就学に必要な経費を助成する。
-------	--

対 象	児童、保護者、要保護・準要保護者
目 的	必要な支援・助成を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
各種大会参加費用の負担	当該年度の予算執行	%	103		250	100

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		11,658	16,276	17,274
財源内訳	国庫補助金	129	550	1,054
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	0	0	0
	一般財源	11,529	15,726	16,220

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の観点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	教育振興事業は小学校教育の手助けであり、現状に基づいた指標となっている。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	各種大会や就学援助事業は保護者の負担を軽減し、児童が教育を受けられる環境をつくるという観点から妥当である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	学校の管理下において実施するため町が実施主体であることは妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
基本事業を構成する事務事業の見直し	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
基本事業を構成する事務事業の見直し	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担 当 主 幹 名)	教育委員会 学校教育グループ 学校教育主幹 田村圭一	内線 302
--------------------------	-------------------------------	-----------

基本事業コード	10020302	担当グループ名	教育委員会 学校教育グループ 学校教育担当
基本事業名	小学校特別支援学級振興事業		
総合計画の 位置づけ	基本目標	05 文化を高め、しあわせなまちに	
	施策(大区分)	02 地域に根ざした学校教育を進める	
	施策(中区分)	01 幼児教育、学校教育	
	施策(小区分)	02 小中学校の教育環境の充実	
事業の概要	特別な配慮を必要とする児童が在籍する特別支援学級に介助員を配置し、学校生活における安全の確保と学習環境を整え、特別支援教育の充実を図る。		
対 象	特別な配慮が必要な児童		
目 的	特別な配慮を必要とする児童の学校生活における安全の確保と学習環境の整備。		

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
介助員の配置	配置者数	名	8		10	11

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事務事業名 (★＝実施計画事業)		事務事業指標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重点化
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1	★	小学校特別支援学級振興事業	介助員の配置(名)				妥当	高い	高い	拡大	維持	◎
			810									
			8,818	11,788	14,506							
								</				

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		8,818	11,788	14,506
財源内訳	国庫補助金			0
	道支出金			0
	地方債			0
	その他特定			0
	一般財源	8,818	11,788	14,506

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	特別支援学級において、特に介助員の配置が必要な学級の現状に基づいて指標を設定した。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	特別支援教育の推進を図るため、構成する事務事業は妥当である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	町が設置した公立学校であるため、実施主体は妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
基本事業を構成する事務事業の見直し	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
基本事業を構成する事務事業の見直し	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担 当 主 幹 名)	教育委員会 学校教育グループ 学校教育主幹 田村圭一	内線 302
--------------------------	-------------------------------	-----------

基本事業コード	10030202	担当グループ名	教育委員会 学校教育グループ 学校教育担当
基本事業名	中学校教育振興事業		
総合計画の位置づけ	基本目標	05 文化を高め、しあわせなまちに	
	施策(大区分)	02 地域に根ざした学校教育を進める	
	施策(中区分)	01 幼児教育、学校教育	
	施策(小区分)	02 小中学校の教育環境の充実	

事業の概要	中体連等の大会参加に要する経費を負担する。 経済的な理由で就学が困難な生徒の保護者に対し、就学に要する経費を助成する。
-------	--

対 象	児童、保護者、要保護・準要保護者
目 的	必要な支援・助成を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
各種大会参加費用の負担	当該年度の予算執行	%	65		84	100

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事務事業名 (★＝実施計画事業)		事務事業指標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重点化
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1		中学校教育振興事業	各種大会参加費用の負担(%)				妥当	高い	高い	拡大	維持	◎
			65	84								
			13,468	5,353	6,688							
2	★	中学校要保護準要保護生徒就学援助事業	就学援助費(%)				妥当	高い	高い	拡大	維持	◎
			83	93								
			0	10,841	11,597							
	</											

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		13,468	16,194	18,285
財源内訳	国庫補助金	230	429	672
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	0	0	0
	一般財源	13,238	15,765	17,613

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
	コスト投入の方向性				
		皆減	縮小	維持	拡大

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	教育振興事業は中学校教育の手助けであり、現状に基づいた指標となっている。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	各種大会や就学援助事業は保護者の負担を軽減し、生徒が教育を受けられる環境をつくるという観点から妥当である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	学校の管理下において実施するため町が実施主体であることは妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
基本事業を構成する事務事業の見直し	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
基本事業を構成する事務事業の見直し	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	教育委員会 学校教育グループ 学校教育主幹 田村圭一	内線 302
----------------------	-------------------------------	-----------

基本事業コード	10030302	担当グループ名	教育委員会 学校教育グループ 学校教育担当
基本事業名	中学校特別支援学級振興事業		
総合計画の 位置づけ	基本目標	05 文化を高め、しあわせなまちに	
	施策(大区分)	02 地域に根ざした学校教育を進める	
	施策(中区分)	01 幼児教育、学校教育	
	施策(小区分)	02 小中学校の教育環境の充実	
事業の概要	特別な配慮を必要とする生徒が在籍する特別支援学級に介助員を配置し、学校生活における安全の確保と学習環境を整え、特別支援教育の充実を図る。		
対 象	特別な配慮が必要な生徒		
目 的	特別な配慮を必要とする生徒の学校生活における安全の確保と学習環境の整備。		

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
介助員の配置	配置者数	名	4		1	1

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事務事業名 (★＝実施計画事業)		事務事業指標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重点化
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1	★	中学校特別支援学級振興事業	介助員の配置(名)				妥当	高い	高い	縮小	維持	◎
			41									
			01,2321,440									

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		0	1,232	1,440
財源内訳	国庫補助金			0
	道支出金			0
	地方債			0
	その他特定			0
	一般財源	0	1,232	1,440

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
	コスト投入の方向性				
	皆減	縮小	維持	拡大	

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	特別支援学級において、特に介助員の配置が必要な学級の現状に基づいて指標を設定した。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	特別支援教育の推進を図るため、構成する事務事業は妥当である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	町が設置した公立学校であるため、実施主体は妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
基本事業を構成する事務事業の見直し	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
基本事業を構成する事務事業の見直し	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担 当 主 幹 名)	教育委員会 学校教育グループ 学校教育主幹 田村圭一	内線 302
--------------------------	-------------------------------	-----------

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		10050301	担当グループ名	教育委員会 学校給食グループ 管理担当
基本事業名		学校給食運営事業		
総合計画の 位置づけ	基本目標	05 文化を高め、しあわせなまちに		
	施策(大区分)	02 地域に根ざした学校教育を進める		
	施策(中区分)	01 幼児教育、学校教育		
	施策(小区分)	02 小中学校の教育環境の充実		
事業の概要		町内小中学校の児童・生徒等の給食の調理及び配送を行う		
対 象		町内の小中学校の児童・生徒等		
目 的		安全・安心な楽しい給食を安定して提供する		

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
給食供給率	給食提供日数／給食予定日数	%	100		100	100

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		158,459	157,247	163,721
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	81,635	81,379	81,488
	一般財源	76,824	75,868	82,233

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	検討の余地がある	理由等	継続して、あらゆる異物混入に対するの予防対策を講ずる必要がある。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	民間の食品衛生コンサルタント、害虫駆除専門業者に業務委託し、異物混入防止対策を実施する。
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	専門業者に業務委託することにより、未然に異物混入の予防が出来る。
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	異物混入を防止することにより、より安全な給食を確実に提供することができ、給食関係者への信頼回復につながる。

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	教育委員会 学校給食グループ 学校給食主幹 石田勇一	内線
----------------------	-------------------------------	----

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		10040204	担当グループ名	教育委員会 社会教育グループ 文化振興担当
基本事業名		芸術文化振興事業		
総合計画の 位置づけ	基本目標	05 文化を高め、しあわせなまちに		
	施策(大区分)	01 生涯教育で生きがいを持つ		
	施策(中区分)	02 文化・芸術		
	施策(小区分)	01 文化芸術活動の促進		

事業の概要	文化ホールを核として町民が芸術文化にふれる機会を拡充する。
-------	-------------------------------

対 象	町民
目 的	芸術文化鑑賞事業参加者及び「びほーる」利用者・来館者の確保

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
催事入場数	びほーる開催の催事入場数	人	20,498		22,172	22,500

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		7,566	11,522	8,291
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	2,164	3,524	2,576
	一般財源	5,402	7,998	5,715

【今後の方向性】

成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	文化芸術の振興、充実のために基本となる指標である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	施設の活用を図り、文化芸術振興に欠かせない事業である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	文化芸術の振興は、社会教育の一環であり、社会教育法に規定されていることから、町主体が妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	芸術文化振興事業	若年層の主体的活動の必要が課題となっていることから、若者が関心を持って参加できるような事業をさらに検討する。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	町内で活躍している若い音楽関係者やアーティストが集う機会を作り、若者による若者向けの鑑賞事業団体の結成につなげる。
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	演劇ワークショップなどを継続させ、びほーるを活用し、町民主体の表現を行う団体の結成に取り組む。
改善状況	改善効果	町内で活躍している若い音楽関係者やアーティストが集う機会を作り、若者による若者向けの鑑賞事業団体の結成につなげられた。
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担 当 主 幹 名)	教育委員会 社会教育グループ 社会教育主幹 荒井紀光子	内線 72-2300
--------------------------	--------------------------------	---------------

27

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		10040301	担当グループ名	教育委員会 社会教育グループ 施設管理担当
基本事業名		町民会館等管理運営事業		
総合計画の位置づけ	基本目標	05 文化を高め、しあわせなまちに		
	施策(大区分)	01 生涯教育で生きがいを持つ		
	施策(中区分)	01 生涯学習(社会教育)		
	施策(小区分)	02 生涯学習関連施設の整備		

事業の概要	①町民会館利用者が、施設を安全に快適に利用できるよう維持管理運営に努める。 ②「びほーる」を除く町民会館は、耐震化の必要があり設備の老朽化と高齢者や身障者が利用しにくい施設であることから、既存施設を解体し改築を行うため、基本設計及び実施設計を策定する。
-------	---

対 象	①町民会館利用者 ②老朽化し耐震化されていない町民会館（第1ホール「びほーる」を除く）を改築する
目 的	①施設の適正管理を行う。 ②利用しやすく機能性と耐震性を兼ね備えた施設へ改築する。

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
施設の利用率	町民会館利用率（H28.7から改築工事）	%	42		48	70
町民会館改築基本設計策定件数	基本設計策定の件数	件			1	
町民会館改築基本設計策定進捗率	基本設計の策定進捗率	%	70		100	
町民会館改築実施設計策定件数	実施設計策定の件数	件			1	

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝 番 号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重 点 化
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥当 性	有 効 性	効 率 性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1		町民会館等維持管理事業	施設の利用率(%)				妥 当	高 い	高 い	縮 小	維 持	
			42	48								
			60,773	65,967	63,063							
2	★	町民会館改築事業	町民会館改築基本設計策定件数(件)			改築スケジュールに沿って、計画通り 平成２７年度中に基本設計、及び実施設 計の策定を行った。	妥 当	高 い	高 い	維 持	維 持	◎
				1								
			0	26,105	453							
				</								

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		60,773	92,072	63,516
財源内訳	国庫補助金	0	3,112	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	17,600	0
	その他特定	5,324	3,853	2,988
	一般財源	55,449	67,507	60,528

【今後の方向性】

成果の方向性

拡充

維持

縮小

休廃止

×

×

×

廃止

協働化

効率性向上

縮小

×

生産性向上

現状維持

×

×

拡大基調

×

×

×

皆減

縮小

維持

拡大

コスト投入の方向性

↑

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	施設の利用拡大の成果を図る指標である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	施設維持に必要不可欠な事業である。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	一部業務を委託しても、貸館と文化振興両立のためには町主体が妥当である。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	町民会館改築事業	今後も改築スケジュールに沿って、平成28年度から改築工事を実施する。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	教育委員会 社会教育グループ 町民会館建設主幹(館長)	内線 73-4187
----------------------	--------------------------------	---------------

27

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		10050202		担当グループ名		教育委員会		スポーツ振興グループ		スポーツ	
基本事業名		屋外体育施設維持管理事業									
総合計画の 位置づけ	基本目標	05 文化を高め、しあわせなまちに									
	施策(大区分)	01 生涯学習で生きがいを持つ									
	施策(中区分)	03 スポーツ									
	施策(小区分)	02 スポーツ施設の整備、活用									
事業の概要		屋外体育施設の維持管理（野球場、河畔公園運動広場、多目的運動広場、テニスコート、陸上競技場、クロスカントリーコース、リリー山スキー場）									

対 象	体育施設利用者
目 的	安全安心で快適なスポーツ活動ができるよう施設の維持管理に努め施設の有効利用と利用者の拡大を図る

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
施設利用人数	施設の年間利用人数	人	52,400		54,528	54,000

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重点化
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
1		あさひ公園・テニスコート維持管理事業	整備件数(回)	0	2		妥当	高い	高い	維持	維持	
				0	3,083	3,120						
2		河畔公園運動広場維持管理事業	利用人数(人)	33,980	35,101		妥当	高い	高い	拡大	拡充	◎
				0	12,678	12,912						
3		リリー山スキー場維持管理事業	利用人数(人)	18,043	19,427		妥当	高い	高い	維持	維持	○
				0	21,142	22,251						
4		柏ヶ丘公園維持管理事業	整備件数(回)	3	3		妥当	高い	高い	維持	維持	○
				93,977	18,078	10,612						
5	★	リリー山スキー場改修等整備事業	整備回数(回)	1	1		妥当	高い	高い	維持	維持	
				0	7,182	4,590						
6	★	屋外体育施設備品等整備事業	整備件数(回)	1	3		妥当	高い	高い	維持	維持	
				0	2,581	3,980						

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		93,977	64,744	57,465
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	28,300	0	0
	その他特定	13,505	9,514	6,693
	一般財源	52,172	55,230	50,772

【今後の方向性】

↑

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
					コスト投入の方向性

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	教育委員会 スポーツ振興グループ スポーツ振興主幹 浅野謙	内線
----------------------	----------------------------------	----

（ 主 要 な 施 策 の 成 果 報 告 書 ）

基本事業コード		10040503	担当グループ名	教育委員会 図書館グループ 業務担当
基本事業名		図書館活動促進事業		
総合計画の 位置づけ	基本目標	05 文化を高め、しあわせなまちに		
	施策(大区分)	01 生涯学習で生きがいを持つ		
	施策(中区分)	01 生涯学習（社会教育）		
	施策(小区分)	02 生涯学習関連施設の整備		

事業の概要	図書・資料等の収集、整備を行い利用者に提供することで、教養の向上、娯楽に資する。 また、講座や子ども対象の読み聞かせ、工作会等を開催し図書館活動の推進を図る。 ブックスタート、ブック2により子ども達に絵本を配布することで、読書習慣の形成を図る。
-------	--

対 象	町民及び図書館の利用者
目 的	図書等の利活用の拡大を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
適切な選書を行い利用者に提供する	1日平均貸出冊数	冊	538		525	530
多くの町民に図書館を利用してもらう	1日平均来館者数	人	232		220	230
趣旨を説明し対象者に絵本を配布する	配布人数	人	282		283	480

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

[illegible]

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		8,887	10,716	11,456
財源内訳	国庫補助金	0	0	0
	道支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定	143	66	50
	一般財源	8,744	10,650	11,406

【今後の方向性】

成果の方向性	拡 充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維 持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮 小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入の方向性			

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	図書館の利用拡大を図るため、各種事業の実施をはじめ住民ニーズや要望への対応等を適切に行い、住民サービスの向上に努めている。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	人口減少に伴い図書館全体での貸出冊数は減少しているものの、絵本の貸出冊数は増加しており、ブックスタートやブック２事業の効果が少しずつ現れてきているものと思われる。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	法的には外部委託も可能だが、公共性に鑑み現段階では考えていない。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。		
基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	図書資料購入整備事業	町民ニーズやリクエスト等に対応した選書により、蔵書拡充を図るとともに予算枠の拡充を図っていく。
	図書館活動推進事業	魅力ある図書館づくり及び事業の見直しを含め、PRの方法を検討することにより来館者の増加を図る。
	読書習慣推進事業	職員だけでは対応が困難なため、ボランティアの支援が必要不可欠だが、ボランティアの後継者不足が大きな課題となっており、今後人材確保を図っていく。
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。		
改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	平成28年度より新たに3歳児を対象とし絵本を配布し、0歳、3歳、6歳と切れ目のない「こども未来絵本036事業」として事業の拡充を図る。
	2～3年以内に実施可能な改善提案	図書館事業の見直しのほか、学校との連携強化を図っていく。
改善状況	改善効果	子ども達が積極的に親しみ、生涯にわたる読書習慣を身につける効果が期待できる。
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	町民ニーズや要望に対応した蔵書や、子ども達が色々な機械やあらゆる場所で読書活動ができる環境づくりのため家庭、学校、地域社会と連携した読書活動を推進する。

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	教育委員会 図書館グループ 教育部長 高木恵一	内線 301
----------------------	----------------------------	-----------

基本事業コード	57010101	担当グループ名	国保病院 総務G
基本事業名	美幌町病院事業		
総合計画の位置づけ	政策	1 元気で働き、豊かなまちに	
	施策の大綱	1 健康を保つ	
	施策の方向	2 医療	
	施策	1 国民健康保険病院の充実	

事業の概要	病床機能を有する地域の基幹的病院として、医師確保による診療の体制の充実を図り地域に必要な医療を安定的に提供することで、収益の確保を図るとともに、経営の効率化による経費の抑制対策を進め、また必要な医療機器の導入や更新、施設の維持管理を継続的に実施することにより、町民の生命と健康を守り地域医療を支援する。
-------	---

対象	町民等
目的	安定的に医療を提供し、町民等の生命と健康を守り、地域医療を支援する。

基本事業指標	指標の算式	設定理由	単位	26実績値	27目標値	27実績値	28目標値
入院収益	入院患者数 28,320人×28,259円		千円	576,107	714,400	799,178	800,295
外来収益	外来患者数 65,391人×12,368円 在宅・訪問22,224千円		千円	637,307	704,210	776,558	830,979

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事 務 事 業 名 (★＝投資的経費)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			28年度以降の 事業の方向性		重点化
			26年度実績値	27年度実績値	28年度		妥当性	有効性	効率性	コスト	成果	
			決算額	決算額	予算額							
01	★	病院運営事業	総収益対総費用比率(%)				妥当	高い	高い	維持	拡充	○
			90.7	93								
			1,826,811	2,008,238	2,123,272							
02	★	固定医師の確保	医師確保数(人)				妥当	高い	高い	拡大	拡充	◎
			2	5								
			12,827	1,296	7,979							
03	★	医療機器等更新事業	医療機器等更新事業進捗率(%)				妥当	高い	高い	維持	維持	○
			52.4	74								
			63,433	240,845	182,049							
04			()									
05			()									
06			()									
07			()									
08			()									
09			()									
10			()									

事業費の合計(円)		26年度決算額	27年度決算額	28年度予算額
		1,903,071,000	2,250,379,000	2,313,300,000
財源内訳	国庫補助金			
	道支出金			
	地方債			
	その他特定			
一般財源		1,903,071,000	2,250,379,000	2,313,300,000

【今後の方向性】

成果の方向性	拡充	×	協働化	生産性向上	拡大基調
	維持	×	効率性向上	現状維持	×
	縮小	×	縮小	×	×
	休廃止	廃止	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の妥当性	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案(継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止)を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	国保病院 総務G 遠 國 求	内線 73-4111
----------------------	-------------------	---------------

27

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		03010102		担当グループ名	広域事務組合 事務局・消防本部グループ 財	
基本事業名		火葬施設整備事業費				
総合計画の 位置づけ	基本目標					
	施策(大区分)					
	施策(中区分)					
	施策(小区分)					
事業の概要		望岳苑斎場の施設整備及び維持管理				
対 象		火葬施設				
目 的		施設整備、管理を行い円滑な火葬業務を行う				

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
火葬炉等の施設改修整備の計画的実施	年度毎の実施率	%	100		100	100

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝 番 号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重 点 化	
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥 当 性	有 効 性	効 率 性	事業の方向性	コスト		成果
			決算額	決算額	予算額								
1	★	火葬場施設整備事業	火葬炉等の施設改善整備の計画的な実施(%)			計画どおり事業が遂行されたが、20年を経過した設備の不具合を防止するため、改修計画の見直しが必要である。	妥 当	高 い	高 い	拡 大	維 持	○	
			100	100									
			0	0	3,721								
							</						

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		0	0	3,721
財源内訳	国庫補助金			
	道支出金			
	地方債			
	その他特定			
	一般財源	0	0	3,721

【今後の方向性】

成果の方向性

拡大

維持

縮小

休廃止

×

×

×

廃止

×

×

×

×

協働化

効率性向上

縮小

×

生産性向上

現状維持

×

×

拡大基調

×

×

×

皆減

縮小

維持

拡大

コスト投入の方向性

↑

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の観点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	重要施設であるため、火葬炉等の計画的な改修計画に基づき、故障等の絶無を図る
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	火葬炉等の施設改修整備の計画的実施により、業務について万全期す
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	火葬業務については、民間委託により業務委託している



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担当主幹名)	広域事務組合 事務局・消防本部 本部次長兼総務主幹	内線 499
----------------------	------------------------------	-----------

27

事後評価シート
(主要な施策の成果報告書)

基本事業コード		04040104		担当グループ名	美幌消防署 消防本部グループ 庶務担当	
基本事業名		救急業務経費				
総合計画の位置づけ	基本目標	03	きまりを守り、明るいまちに			
	施策(大区分)	01	安全なまちにする			
	施策(中区分)	02	消防・救急			
	施策(小区分)	01	常備消防体制の充実			
事業の概要		救急活動、応急手当普及業務				
対 象		町民、消防職員				
目 的		応急手当の普及及び救命率の向上				

基本事業指標	指標の算式	単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	H28目標値
救命講習受講人数	受講人員	人	365		232	300

◆基本事業を構成する事務事業評価◆

枝番号	事 務 事 業 名 (★＝実施計画事業)		事 務 事 業 指 標			特記事項 (事務事業の問題点等)	評価結果			H28年度以降の 事業の方向性		重 点 化
			H26年度実績値	H27年度実績値	H28年度		妥当性	有効性	効率性	事業の方向性		
			決算額	決算額	予算額					コスト	成果	
1		救急活動業務	応急手当講習の実施(人)			充実した応急手当講習を開催し、更なる救命率の向上を図りたい。	妥当	高い	高い	維持	拡充	◎
			365	232								
			0	0	1,728							

事業費の合計(千円)		H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度予算額
		0	0	1,728
財源内訳	国庫補助金			
	道支出金			
	地方債			
	その他特定			
	一般財源	0	0	1,728

【今後の方向性】

成果の方向性

拡充

維持

縮小

休廃止

×

×

×

廃止

協働化

効率性向上

縮小

×

生産性向上

現状維持

×

×

拡大基調

×

×

×

皆減

縮小

維持

拡大

コスト投入の方向性

◆事後評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の目的を達成するにあたって、新たに生じた問題点はないか？		
基本事業指標の分析	基本事業の目的は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？		
	適切である	理由等	円滑な救急活動と応急手当の普及を目標としているため。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題はないか？		
	妥当である	理由等	救急業務を推進する上で必要不可欠な事業で構成されている。
実施主体の妥当性	行政(国・道・町)・企業・町民・NPO等実施主体は適切か？外部委託等の可能性は？		
	妥当である	理由等	町民に対する普及啓発のため他の実施主体は考えられない。



評価結果を踏まえた構成事業の見直し及び具体的な改善提案

◆改善計画◆

この基本事業の目的を達成するため、構成する事務事業の改善提案（継続事業の改善、事業の新規実施、事業の休廃止）を記載してください。

基本事業を構成する事務事業の見直し	改善する継続事務事業名	改善・改革の内容
基本事業を構成する事務事業の見直し	新規に実施する事務事業名	事業の概要・実施による効果等
基本事業を構成する事務事業の見直し	休廃止する事務事業名	休廃止する理由

この基本事業の目的を達成するための、具体的な改善提案（改善内容、始期、終期等）及び改善効果等を記載してください。

改善事項	予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	
	1年以内に実施可能な改善提案	
	2～3年以内に実施可能な改善提案	
改善状況	改善効果	
	改善の阻害要因	
	住民への影響及びフォロー	

基本事業執行責任者 (担 当 主 幹 名)	美幌消防署 消防本部グループ	内線
	警防司令	499